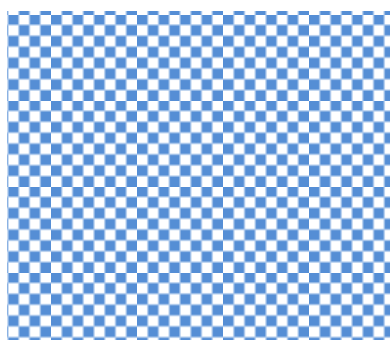
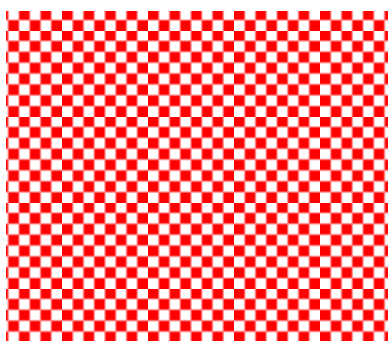


上里町国民健康保険 データヘルス計画



平成 29 年 3 月

上里町

目次

第1章 計画の概要	2
1. 計画策定の背景	2
2. 計画の位置づけ	2
3. 基本方針	3
4. 計画の期間	3
第2章 上里町の現状	4
1. 基本情報	4
2. 医療費等の状況	6
(1) 医療基礎情報	6
(2) 疾病別医療費統計	8
(3) 医療機関受診状況	22
(4) 後発医薬品普及状況	23
3. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	24
(1) 特定健康診査受診状況	24
(2) 特定保健指導実施状況	25
(3) 特定健康診査及びレセプトによる指導対象者の状況	26
(4) 特定健康診査受診有無による医療費の状況	27
第3章 過去の取り組みの考察	28
第4章 実施事業	29
1. 健康課題の抽出と対策の方向性	29
2. 実施事業の選定	30
3. 実施事業の内容	31
第5章 その他	33
1. データヘルス計画の公表・周知	33
2. データヘルス計画の改定	33
3. 事業運営上の留意事項	33
(1) 各種検（健）診等の連携	33
(2) 健康づくり事業との連携	33
4. 個人情報の保護	33

第 1 章 計画の概要

1. 計画策定の背景

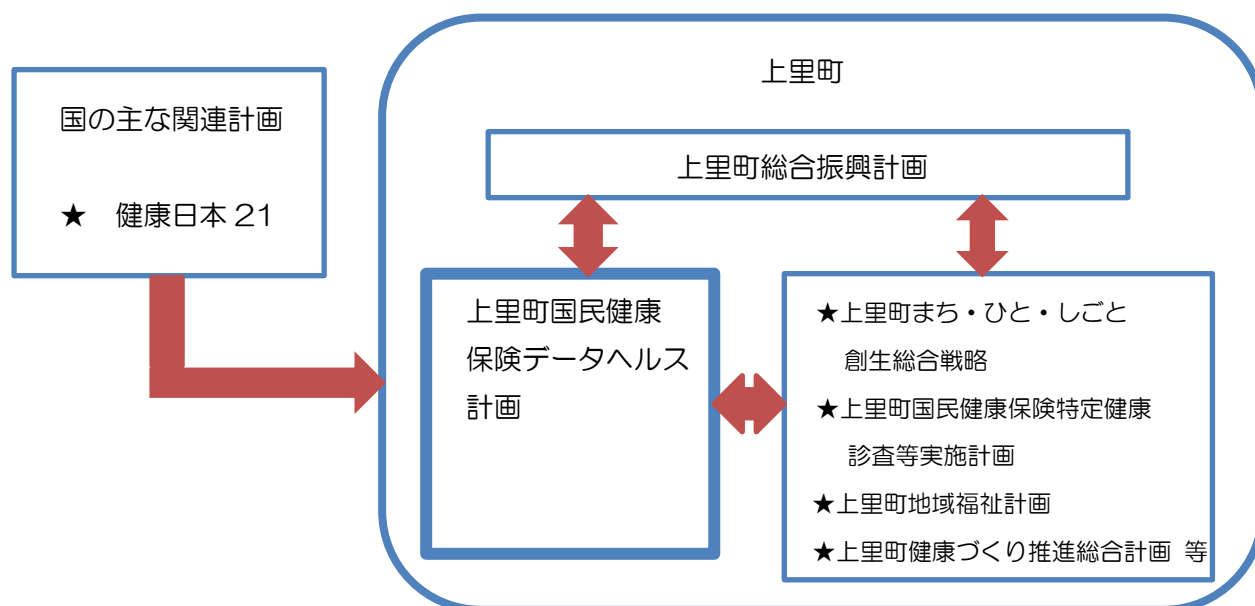
「日本再興戦略」（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされており、データヘルス計画には健康・医療情報（健康診査の結果や診療報酬明細書から得られる情報（以下「健診データ」、「レセプトデータ」という）を分析し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これらの分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、健診データやレセプトデータを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。それぞれの事業については、少なくとも毎年度効果の測定及び評価を行った上で、必要に応じて事業内容等の見直しを行うことが必要である。

上里町国民健康保険においては、上記の要件に沿ってデータヘルス計画を作成し、被保険者及び上里町全体の健康維持増進を図る。

2. 計画の位置づけ

データヘルス計画（保健事業実施計画）とは、健康・医療情報を活用して PDCA サイクル（Plan-Do-Check-Action サイクル）に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定だけではなく、事業の評価においても健診データやレセプトデータの分析を行い、他の計画等との整合を図りながら事業内容の見直しを実施する。

データヘルス計画は、「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21（第 2 次））」に示された基本方針を踏まえるとともに、「上里町総合振興計画」、「上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「上里町健康づくり推進総合計画」及び「高齢者の医療の確保に関する法律」（昭和 57 年法律第 80 号）第 19 条第 1 項の規定により定める「上里町国民健康保険特定健康診査等実施計画」との整合性を図る。



3. 基本方針

データヘルス計画では、健診データやレセプトデータの分析結果を活用し、本町の実態に則した事業を計画する。目標とする成果を達成するために、以下の基本方針で計画を策定する。

基本方針1 課題の明確化

潜在する課題を確認するため、健診データやレセプトデータを分析し、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握し、課題を明確にする。

基本方針2 事業の選定

明確となった課題の改善に向けて、費用対効果の期待できる事業を選定する。

基本方針3 評価指標と目標の設定

事業実施の効果を測定するための評価指標と目標を設定する。また、この目標を達成することの出来る効果的な実施方法を検討し、明示する。

4. 計画の期間

本計画の期間は、平成 28 年度～平成 32 年度の 5 年間とする。

第2章 上里町の現状

1. 基本情報

本町の平成27年1月1日現在の人口は31,507人である。人口に対する高齢化率(65歳以上)は22.2%で、埼玉県、全国と比較すると、高齢化率(65歳以上)は低くなっている。

国民健康保険被保険者数は8,636人で、本町の人口に占める国保加入者の割合(以下、国保加入率)は27.4%であり、埼玉県の29.7%、全国の28.2%と比較すると、国保加入率は低くなっている。

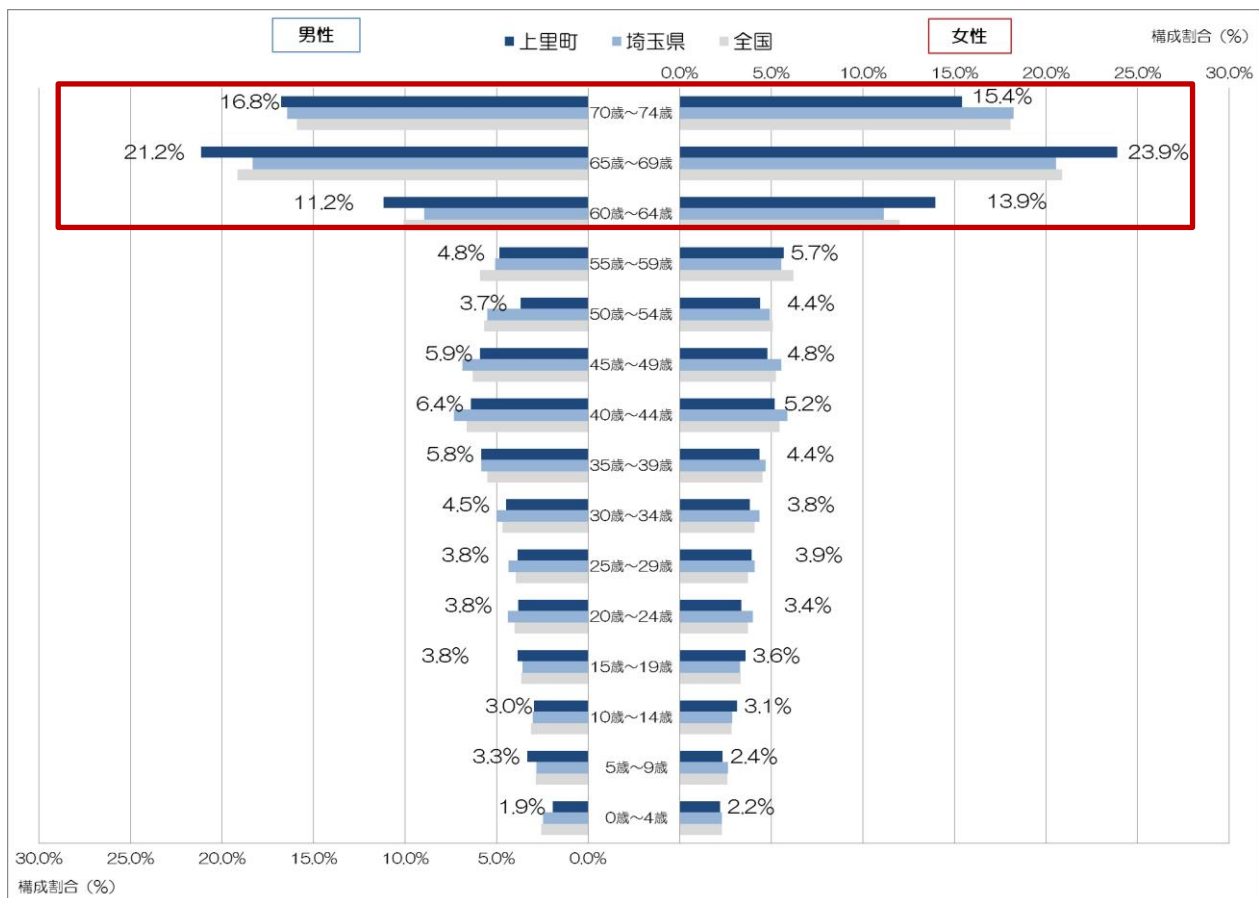
表1 人口構成概要(平成27年1月1日現在)

	人口総数 (人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率
上里町	31,507	22.2%	8,636	27.4%
埼玉県	7,304,817	23.7%	2,173,578	29.7%
全国	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%

※国保データベース(KDB)システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

※人口動態統計「地域の現状と健康指導」より

国民健康保険被保険者数は60歳以上で約半数を占めており、埼玉県や全国と比較すると60歳以上の割合が高くなっている。国民健康保険被保険者の65歳以上の割合は38.6%で、埼玉県の36.8%、全国の37.0%と比較すると高くなっている。



※ 国保データベース(KDB)システム 「人口及び被保険者の状況」より

図1 男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド(平成27年度)

平均寿命・健康寿命をみると、男性の平均寿命は 79.72 歳、女性の平均寿命は 85.52 歳であり、埼玉県と比較して短くなっている。健康寿命については、男性、女性ともに長くなっており、健康で自立した生涯を送る期間が長くなっている。

表 2 平均寿命・健康寿命（平成 26 年度）

	平均寿命(歳)		健康寿命(歳)	
	男性	女性	男性	女性
上里町	79.72	85.52	17.24	20.76
埼玉県	80.00	86.13	16.96	19.84

※埼玉県人口動態統計「地域の現状と健康指導」より抜粋

※埼玉県における健康寿命の定義：65歳に達した県民が健康で自立した生活を送る期間

→「要介護度2」以上になるまでの期間

本町における主たる死因は、多いものから順に「悪性新生物（がん）」、「心臓病」、「肺炎」となっており、埼玉県と同じ傾向となっている。割合をみると、埼玉県と比較して「肺炎」の割合が高くなっている。

表 3 主たる死因とその割合

疾病項目	上里町		埼玉県
	人数（人）	割合	
悪性新生物	96	30.1%	30.4%
心臓病	51	16.0%	16.8%
肺炎	48	15.0%	10.2%
脳疾患	20	6.3%	8.4%
老衰	10	3.1%	4.6%
その他	94	29.5%	29.6%
合計	319		

※平成26年人口動態統計 埼玉県「地域の現状と健康指導」より抜粋

2. 医療費等の状況

(1) 医療基礎情報

本町の医療基礎情報は表 4 のとおりである。千人当たりの診療所数は 2.3 となっており、埼玉県より多くなっているが、全国と比較すると少なくなっている。医師数、医科レセプト数は埼玉県、全国と比較して少なくなっている。

1 件当たり医療費は 35,590 円となっており、埼玉県と比較して高くなっているが、全国と比較すると低くなっている。

外来の 1 件当たり医療費や 1 人当たり医療費、1 日当たり医療費が埼玉県、全国と比較して高くなっており、その結果、外来費用の割合が高くなっている。

入院の 1 件当たり医療費や 1 人当たり医療費、1 日当たり医療費については、埼玉県、全国と比較して低くなっているが、1 件当たり在院日数が多くなっている。

表 4 医療基礎情報（平成 27 年度）

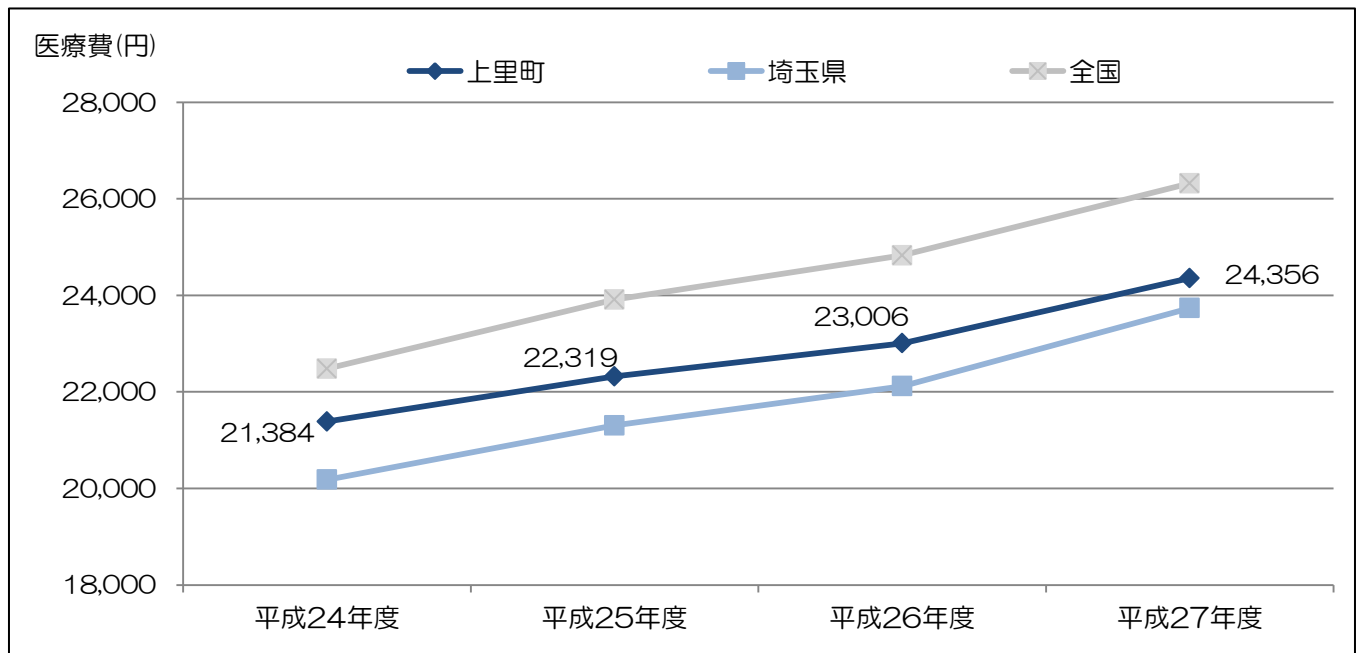
区 分		上里町	埼玉県	全国
千人当たり				
	病院数	0.0	0.2	0.2
	診療所数	2.3	1.9	2.9
	病床数	0.0	28.6	46.1
	医師数(人)	1.9	5.2	8.4
	外来患者数(人)	620.6	625.8	667.5
	入院患者数(人)	15.6	14.5	18.2
	医科レセプト数(件)	636.29	640.32	685.69
1件当たり医療費(円)		35,590	34,300	35,660
	一 般(円)	35,310	34,210	35,580
	退 職(円)	41,000	36,880	37,800
外 来				
	外来費用の割合 ※1	66.0%	64.1%	60.8%
	1件当たり医療費(円)	24,070	22,490	22,280
	1人当たり医療費(円)	14,940	14,070	14,870
	1日当たり医療費(円)	14,720	14,180	14,000
	1件当たり受診回数	1.6	1.6	1.6
入 院				
	入院費用の割合 ※2	34.0%	35.9%	39.2%
	1件当たり医療費(円)	493,020	542,470	527,160
	1人当たり医療費(円)	7,710	7,890	9,580
	1日当たり医療費(円)	30,680	37,180	33,570
	1件当たり在院日数	16.1	14.6	15.7

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

※1 「外来費用の割合 = 外来レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

※2 「入院費用の割合 = 入院レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

被保険者一人当たり医療費は、高齢化の進展及び医療の高度化により年々上昇し続けており、平成 24 年度と平成 27 年度を比較すると、約 3,000 円増加している。埼玉県と比較すると一人当たりの医療費は高くなっているが、全国と比較すると医療費は低くなっている。増加額については、埼玉県や全国と比較すると緩やかになっている。



※国保データベース（KDB システム）「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

図 2 被保険者一人当たり医療費(月額/人)の推移

(2) 疾病別医療費統計

① 大分類による疾病別医療費統計

疾病項目ごとに医療費総計、医科レセプト件数、患者数を算出すると、表5のとおりである。「Ⅸ. 循環器系の疾患」が医療費合計の14.9%を占め、「Ⅱ. 新生物」は医療費合計の12.8%、「XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」は医療費合計の9.9%と高い割合を占めている。次いで「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」も医療費合計の9.8%を占め、高い水準となっている。患者数は、「Ⅹ. 呼吸器系の疾患」、「ⅩⅠ. 消化器系の疾患」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」が多く、患者一人当たりの医療費は「Ⅴ. 精神及び行動の障害」、「Ⅱ. 新生物」、「XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」が高くなっている。

表5 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	146,065,040	6.0%	9	5,884	12	2,349	8	62,182	7
Ⅱ. 新生物	310,215,670	12.8%	2	5,613	13	1,913	10	162,162	2
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,612,190	1.2%	15	2,212	15	807	15	35,455	14
Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	237,502,200	9.8%	4	22,401	2	3,526	3	67,357	6
Ⅴ. 精神及び行動の障害	180,509,600	7.5%	6	6,500	9	951	14	189,810	1
Ⅵ. 神経系の疾患	98,581,550	4.1%	11	10,160	6	1,654	12	59,602	9
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	103,333,370	4.3%	10	7,279	7	2,669	6	38,716	12
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	11,962,950	0.5%	16	1,453	17	684	16	17,490	19
Ⅸ. 循環器系の疾患	360,958,230	14.9%	1	23,931	1	3,218	4	112,168	4
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	160,246,450	6.6%	8	13,932	5	4,258	1	37,634	13
ⅩⅠ. 消化器系の疾患	174,207,070	7.2%	7	19,099	3	4,119	2	42,294	11
ⅩⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	46,047,250	1.9%	13	6,757	8	2,402	7	19,170	17
ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	182,288,220	7.5%	5	14,185	4	2,994	5	60,885	8
XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	239,719,470	9.9%	3	6,165	11	1,728	11	138,727	3
XⅤ. 妊娠、分娩及び産じょく	5,767,130	0.2%	18	103	19	53	19	108,814	5
XⅥ. 周産期に発生した病態	669,380	0.0%	20	34	21	21	21	31,875	15
XⅦ. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,397,980	0.1%	19	377	18	147	18	16,313	20
XⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,934,070	1.7%	14	6,207	10	2,246	9	17,780	18
XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	82,898,680	3.4%	12	3,022	14	1,449	13	57,211	10
XXⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,349,130	0.3%	17	1,521	16	356	17	20,644	16
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	461,530	0.0%	21	84	20	46	20	10,033	21
合計	2,419,727,160	100.0%		68,758		7,773		311,299	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

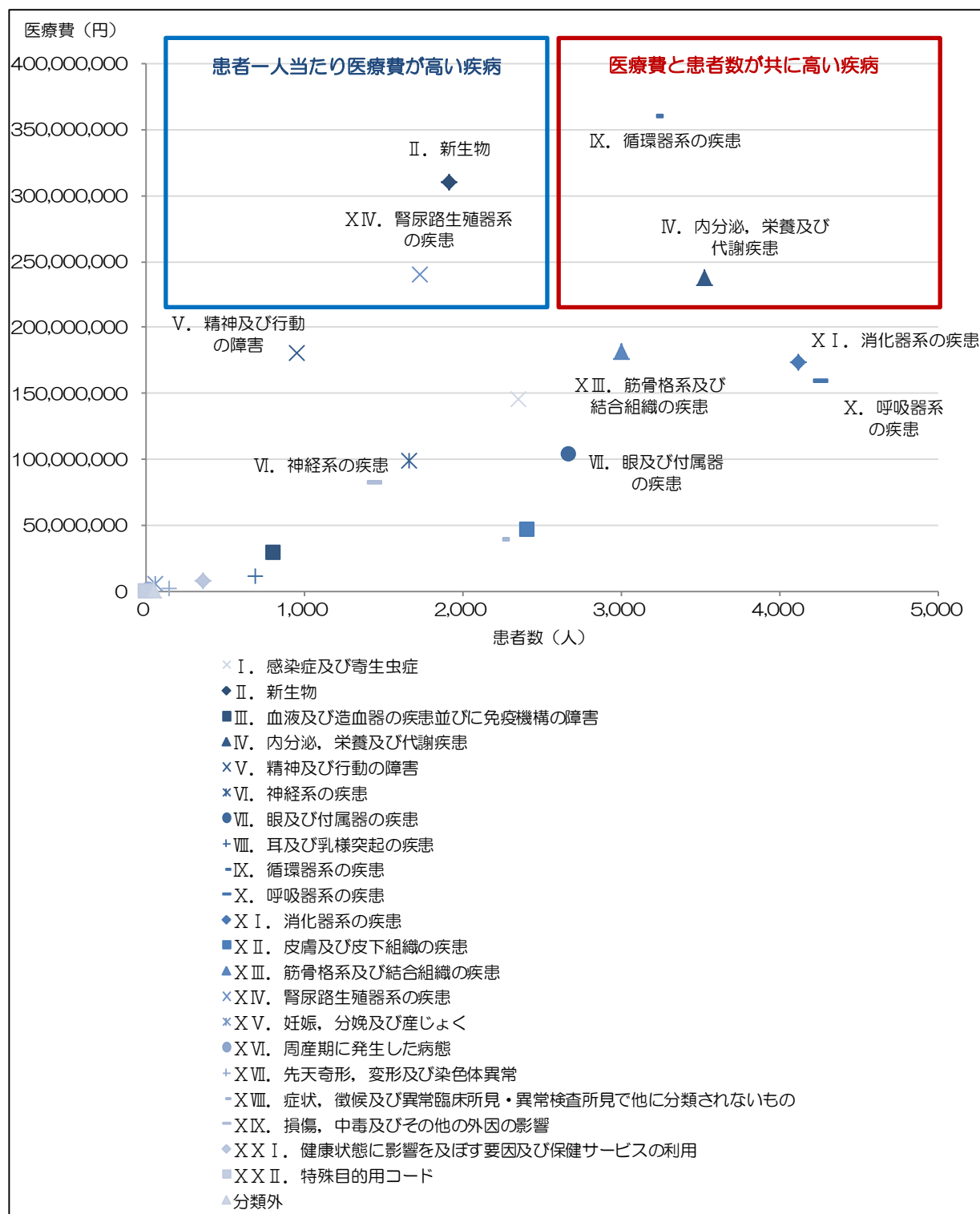
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

疾病項目ごとの医療費総計、患者数の分布をみると、「Ⅸ. 循環器系の疾患」や糖尿病や脂質異常症が含まれる「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費が高く、患者数も多くなっている。また「Ⅱ. 新生物」や「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」は患者数が少ないが、患者一人当たりの医療費が高いため医療費が高くなっている。

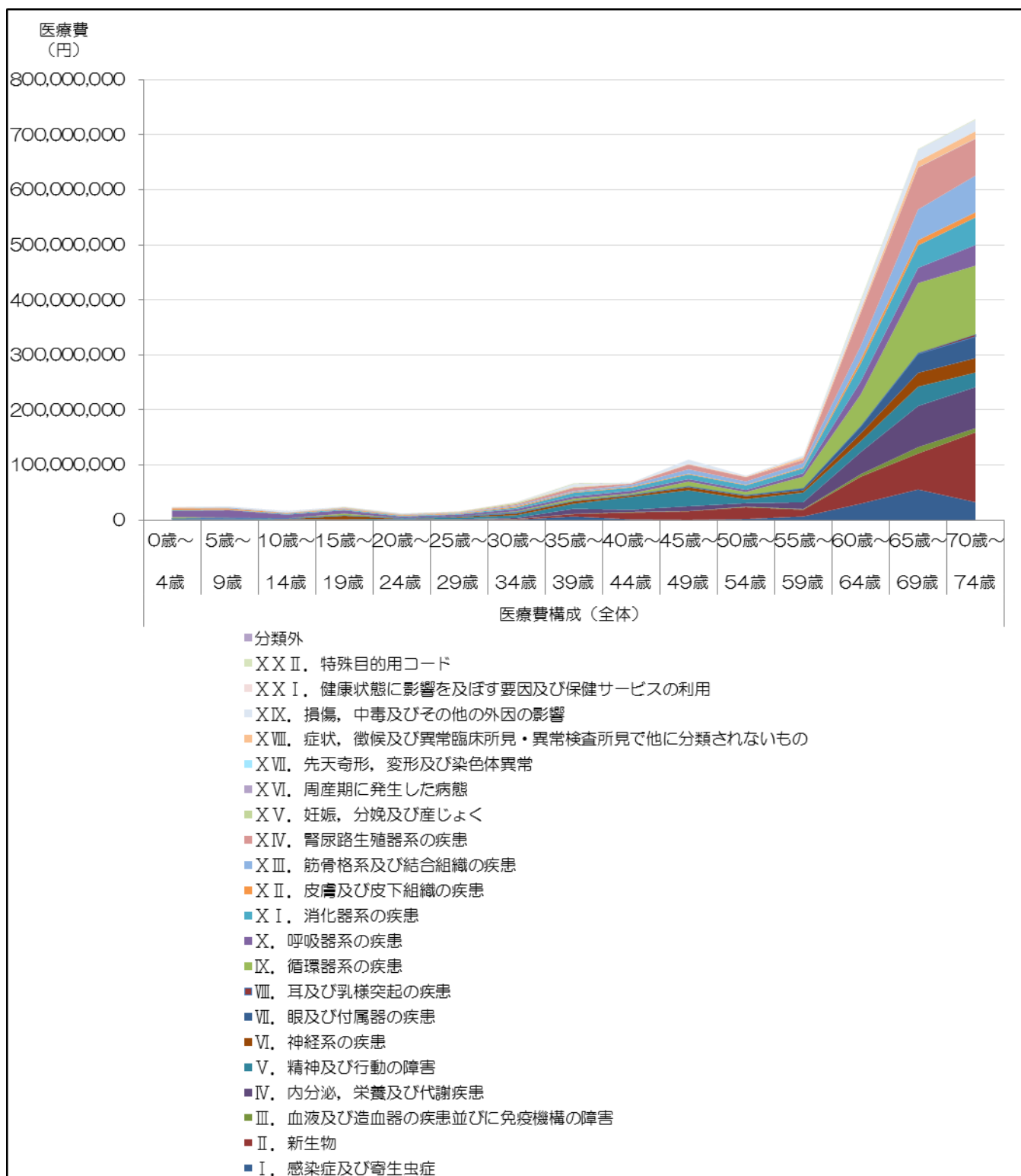


※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 3 疾病別医療費及び患者数

5 歳ごとの年齢階層別の医療費をみると、60 歳以上で急激に増加しており、70 歳以上の医療費が最

も高くなっている。その中でも、「Ⅱ. 新生物」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」、「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患」、「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」の医療費が伸びている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図4 疾病別年齢階層別医療費

疾病項目ごとの年齢別の医療費の上位5疾病をみると、男女共に30歳までは「Ⅹ. 呼吸器系の疾患」の

医療費が高く、30 歳から 49 歳まではメンタル系の疾患である「Ⅴ. 精神及び行動の障害」、「Ⅵ. 神経系の疾患」の医療費が高くなっている。50 歳以降では、男性は、「Ⅱ. 新生物」、「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」の医療費が高くなり、女性は「Ⅱ. 新生物」、「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費が高くなっている。

表 6 疾病別年齢階層別医療費 上位 5 疾病 【男性】

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XⅠ. 消化器系の疾患
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XⅨ. 損傷、中毒及びその他外因の影響
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅨ. 損傷、中毒及びその他外因の影響	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	Ⅶ. 眼及び付属器の疾患
15歳～19歳	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
20歳～24歳	XⅠ. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XⅨ. 損傷、中毒及びその他外因の影響	Ⅴ. 精神及び行動障害	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患
25歳～29歳	Ⅴ. 精神及び行動障害	X. 呼吸器系の疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患
30歳～34歳	Ⅵ. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	Ⅴ. 精神及び行動障害	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
35歳～39歳	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	XⅨ. 損傷、中毒及びその他外因の影響	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅴ. 精神及び行動障害
40歳～44歳	Ⅴ. 精神及び行動障害	Ⅱ. 新生物	XⅠ. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳～49歳	Ⅴ. 精神及び行動障害	XⅨ. 損傷、中毒及びその他外因の影響	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患
50歳～54歳	Ⅱ. 新生物	XⅠ. 消化器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	Ⅵ. 神経系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患
55歳～59歳	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物	Ⅴ. 精神及び行動障害	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	I. 感染症及び寄生虫症
60歳～64歳	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅸ. 循環器系の疾患	Ⅱ. 新生物	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅠ. 消化器系の疾患
65歳～69歳	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	I. 感染症及び寄生虫症	Ⅱ. 新生物
70歳～74歳	Ⅱ. 新生物	Ⅸ. 循環器系の疾患	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XⅠ. 消化器系の疾患

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

表 7 疾病別年齢階層別医療費 上位 5 疾病 【女性】

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	VII. 眼及び付属器の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
10歳～14歳	V. 精神及び行動障害	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
20歳～24歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動障害	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	X I. 消化器系の疾患
25歳～29歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動障害	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動障害	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動障害	I. 感染症及び寄生虫症	X I. 消化器系の疾患	II. 新生物	X. 呼吸器系の疾患
40歳～44歳	V. 精神及び行動障害	II. 新生物	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
45歳～49歳	II. 新生物	V. 精神及び行動障害	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
50歳～54歳	II. 新生物	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動障害	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
60歳～64歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
70歳～74歳	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

② 中分類による疾病別医療費統計

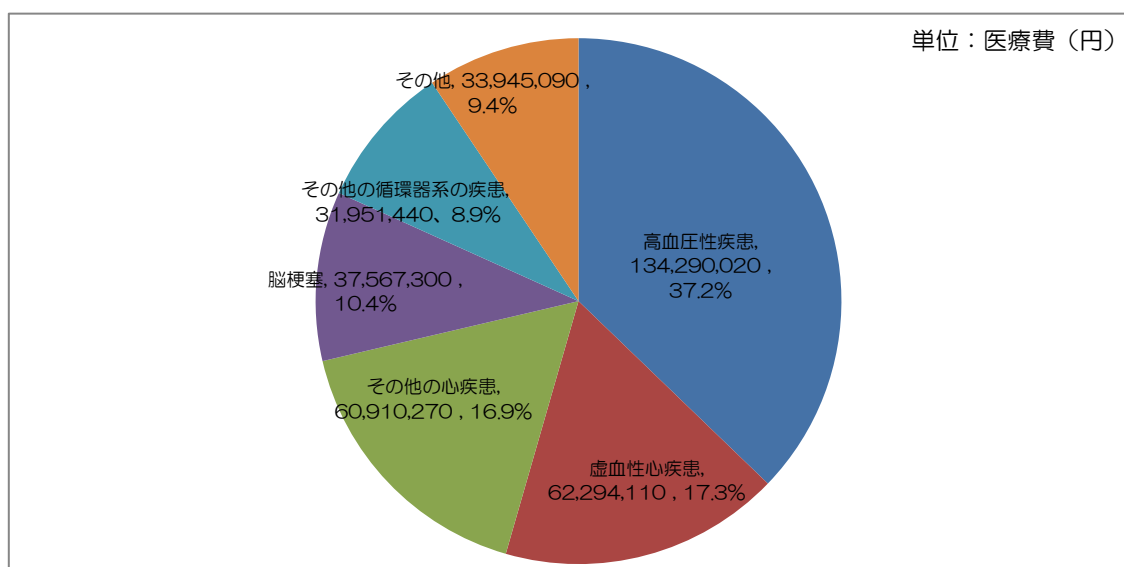
医療費や患者数、患者一人当たり医療費が上位にきた「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「Ⅱ. 新生物」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」、「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」、「Ⅹ. 呼吸器系の疾患」、「Ⅴ. 精神及び行動の障害」について、中分類ごとに集計する。

- Ⅸ. 循環器系の疾患 : 医療費 第1位、患者数 第4位、
患者一人当たり医療費 第4位

医療費が最も高額で、死因の第2位である「心臓病」、第3位である「脳疾患」が含まれる「Ⅸ. 循環器系の疾患」について、中分類別にみると、「高血圧性疾患」の医療費が約1億3,429万円で37.2%を占めている。その次に「虚血性心疾患」、心筋症や心不全が含まれる「その他の心疾患」の医療費が15%以上となっており、高い割合を占めている。

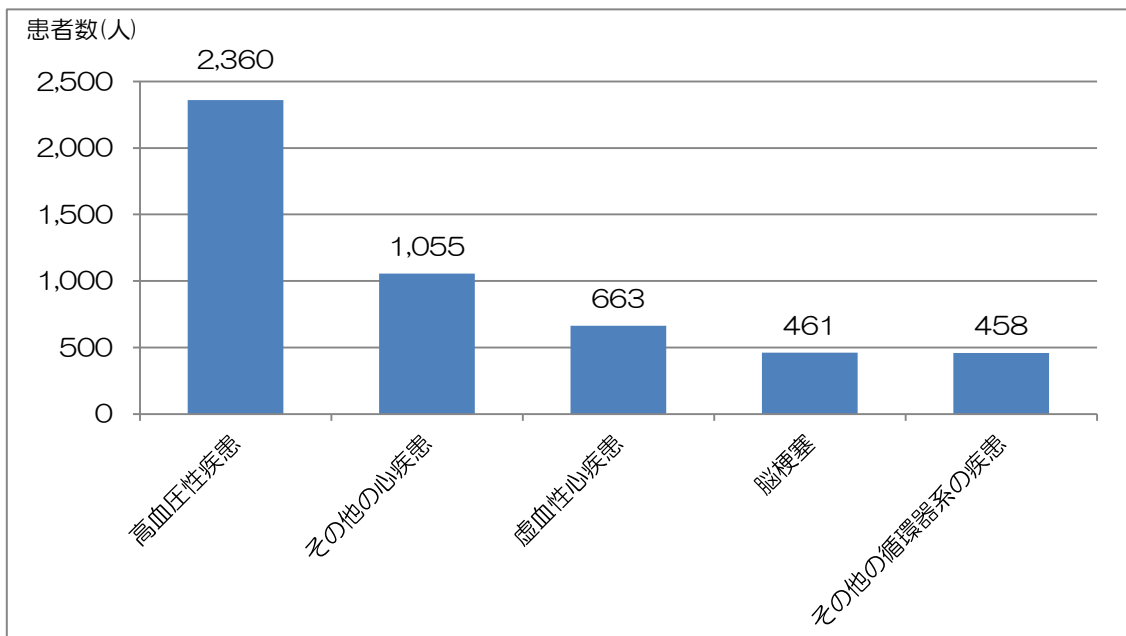
患者数は、「高血圧性疾患」の患者が一番多く2,360人、「その他の心疾患」も1,000人を超えている。

患者一人当たり医療費では、「くも膜下出血」の患者一人当たり医療費が約35万円となっている。その他に「虚血性心疾患」、「脳梗塞」の患者一人当たり医療費が高額となっている。



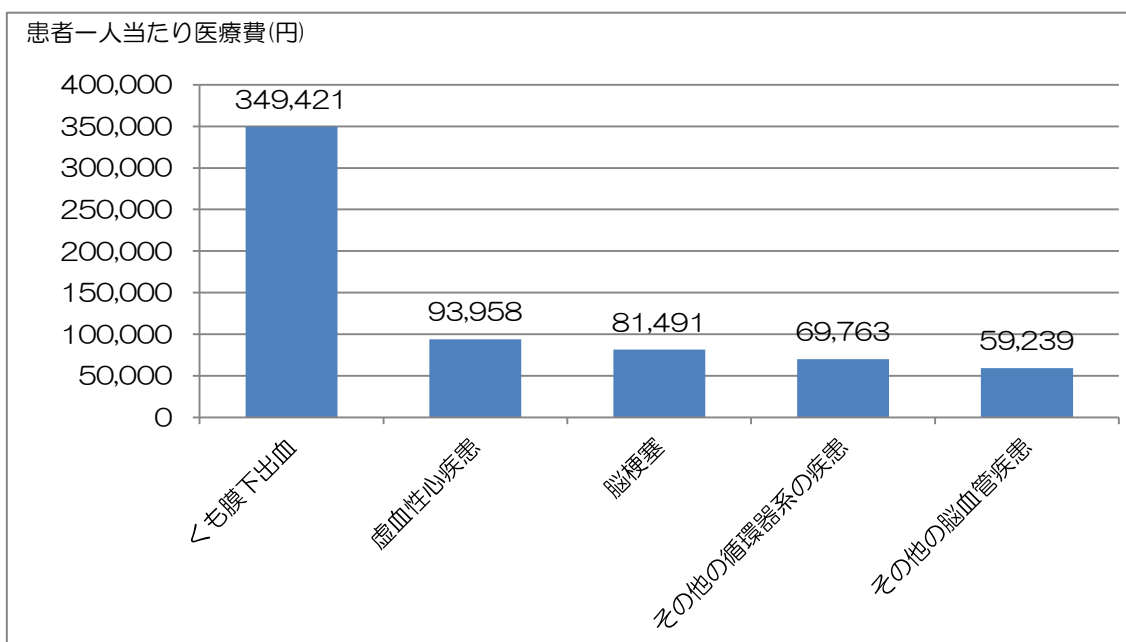
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図 5 循環器系の疾患の医療費の内訳



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12ヵ月分)。
 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 6 循環器系の疾患の患者数



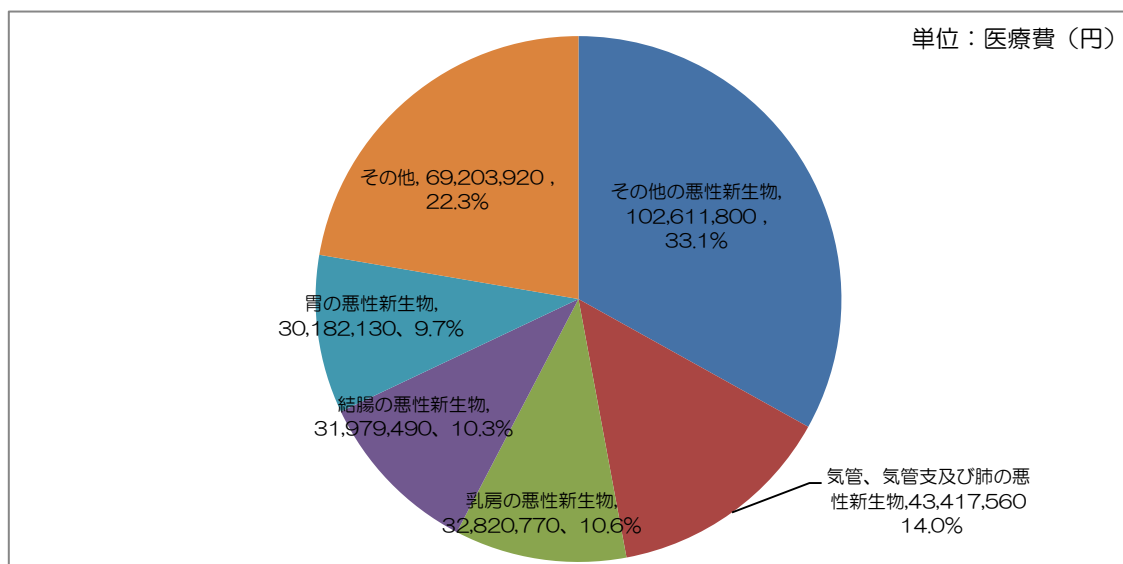
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12ヵ月分)。

図 7 循環器系の疾患の患者一人当たり医療費

● Ⅱ. 新生物 : 医療費 第2位、患者数 第10位、
患者一人当たり医療費 第2位

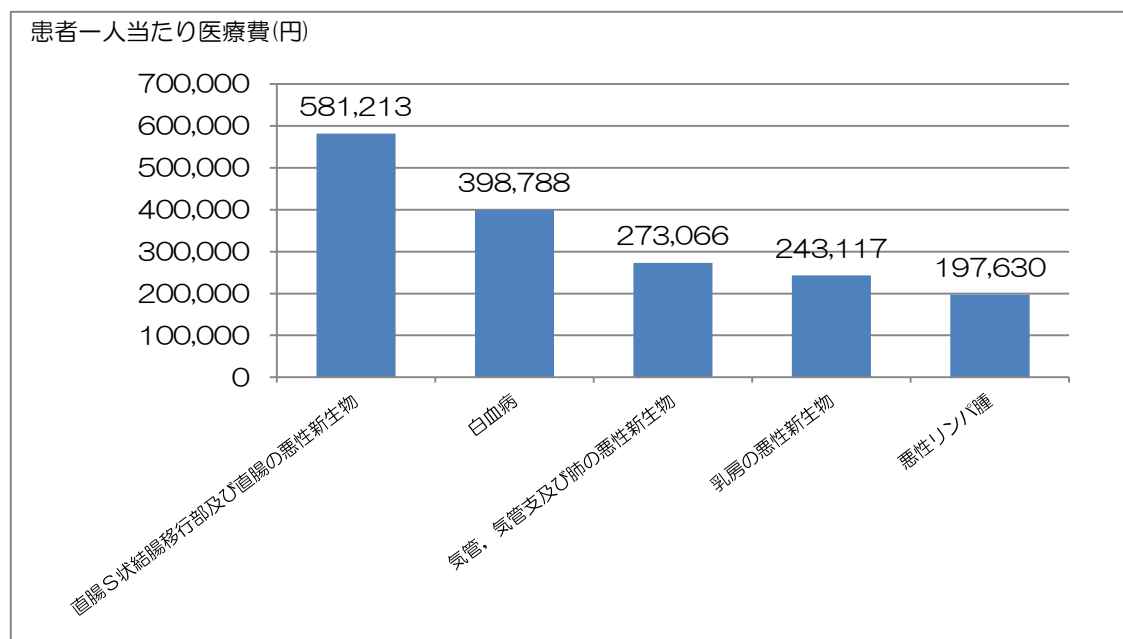
医療費、患者数一人当たり医療費が第2位であり、死因の第1位である「悪性新生物」が含まれる「Ⅱ. 新生物」について、中分類別にみると、前立腺癌等が含まれる「その他の悪性新生物」の医療費が約1億261万円で33.1%を占めている。その次に「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」の医療費が10%以上と高い割合を占めている。

患者一人当たり医療費では、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」の患者一人当たり医療費が約58万円となっている。その他に「白血病」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」の患者一人当たり医療費が高額となっている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図8 新生物の医療費の内訳



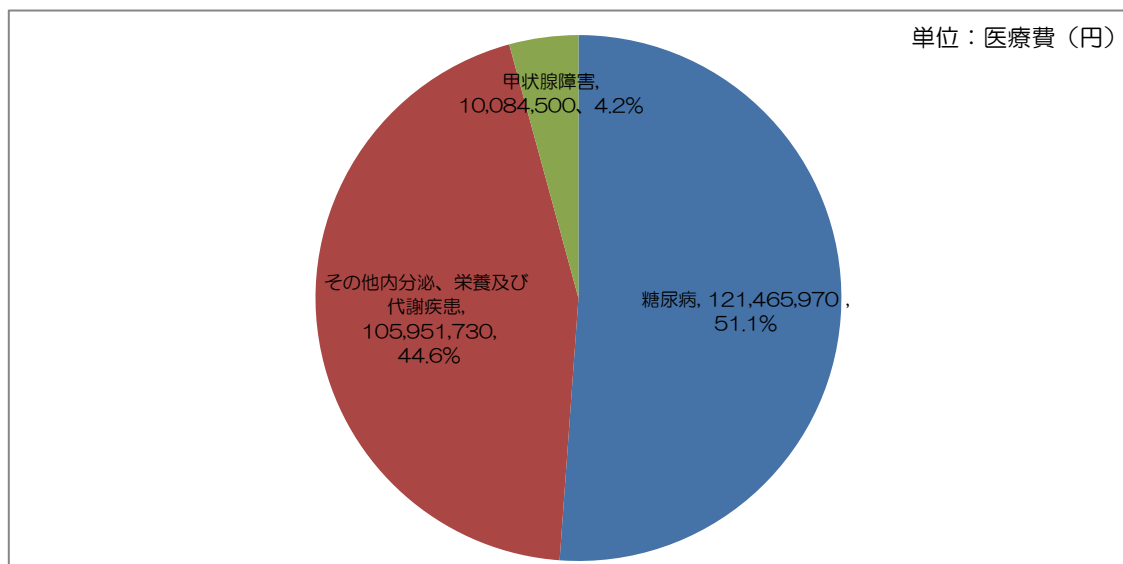
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図9 新生物の患者一人当たり医療費

● IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患 ： 医療費 第 4 位、患者数 第 3 位、
患者一人当たり医療費 第 6 位

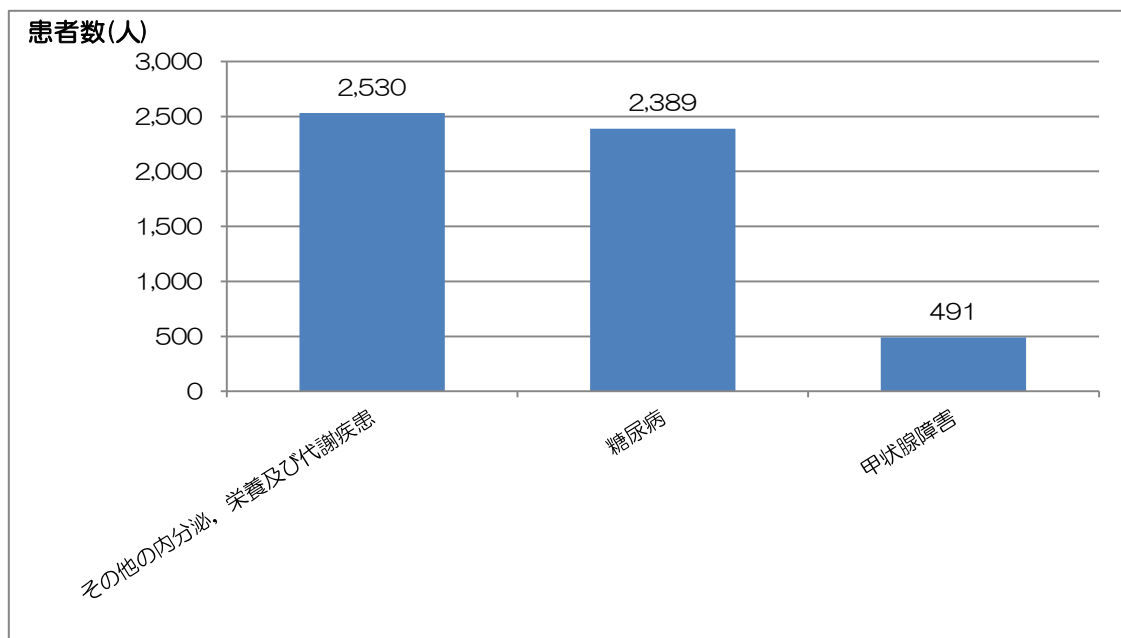
医療費が第 4 位、患者数が第 3 位である「IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患」について、中分類別にみると、「糖尿病」の医療費が約 1 億 2,147 万円で 51.1%、脂質異常症の含まれる「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費が約 1 億 595 万円で 44.6%を占めている。

患者数では、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」「糖尿病」ともに 2,000 人以上となっている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図 10 内分泌、栄養及び代謝疾患の医療費の内訳



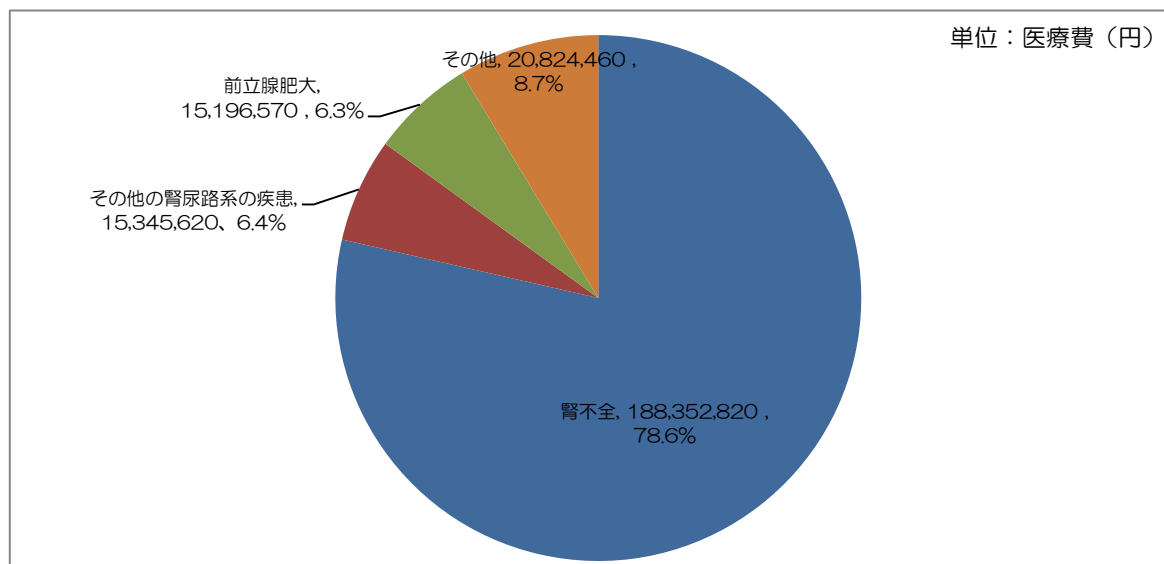
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ
患者がいるため)。

図 11 内分泌、栄養及び代謝疾患の患者数

- XⅣ．腎尿路生殖器系の疾患 ： 医療費 第3位、患者数 第11位、
患者一人当たり医療費 第3位

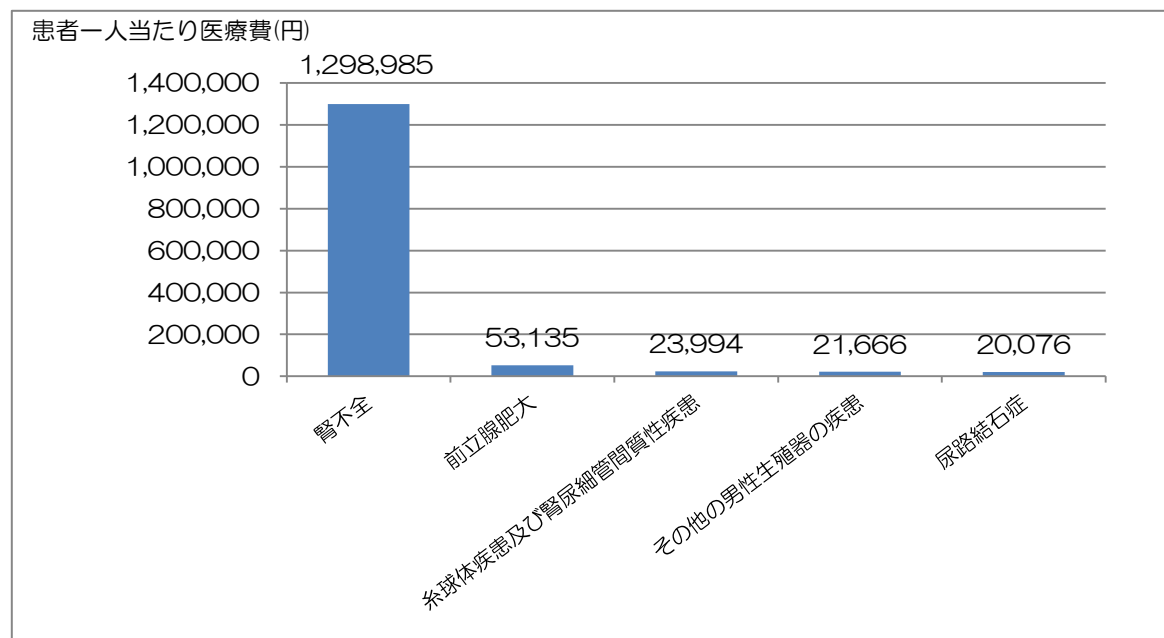
医療費、患者一人当たり医療費が第3位である「XⅣ．腎尿路生殖器系の疾患」について、中分類別にみると、「腎不全」の医療費が約1億8,835万円で78.6%を占めている。

患者一人当たり医療費では、「腎不全」の患者一人当たり医療費が約130万円となっている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図 12 腎尿路生殖器系の疾患の医療費の内訳



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 13 腎尿路生殖器系の疾患の患者一人当たり医療費

「腎不全」の中には、年間の医療費が500万円～600万円必要になるといわれる人工透析患者が含まれる。人工透析患者についてみると、透析患者数は55人であり、そのうち起因疾病が「糖尿病性腎症Ⅱ型糖尿病」である患者が33人おり、60.0%と多くの割合を占めている。

また、人工透析患者の医療費は年間2億6,250万円にかかっており、一人当たりでみると年間約477万円と高額な医療費がかかっている。

表 8 人工透析患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)		新規人工透析患者数
血液透析のみ	54	平成23年度	9人
腹膜透析のみ	0	平成24年度	2人
血液透析及び腹膜透析	1	平成25年度	6人
透析患者合計	55	平成26年度	4人
		平成27年度	7人

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ分)。

※対象診療年以内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

※新規人工透析患者数は上里町の国保特定疾病療養受療証発行数集計。

表 9 人工透析患者の医療費

透析患者の起因		透析患者数 (人)	割合	医療費(円)			患者一人当たり医療費(円)		
				透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
①	糖尿病性腎症Ⅰ型糖尿病	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
②	糖尿病性腎症Ⅱ型糖尿病	33	60.0%	140,213,400	30,129,300	170,342,700	4,248,891	913,009	5,161,900
③	糸球体腎炎IgA腎症	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
④	糸球体腎炎その他	4	7.3%	15,623,990	3,319,560	18,943,550	3,905,998	829,890	4,735,888
⑤	腎硬化症本態性高血圧	3	5.5%	10,412,260	2,649,090	13,061,350	3,470,753	883,030	4,353,783
⑥	腎硬化症その他	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
⑧	不明※	15	27.3%	50,712,560	9,436,410	60,148,970	3,380,837	629,094	4,009,931
透析患者全体		55	100.0%	216,962,210	45,534,360	262,496,570	3,944,767	827,897	4,772,665

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

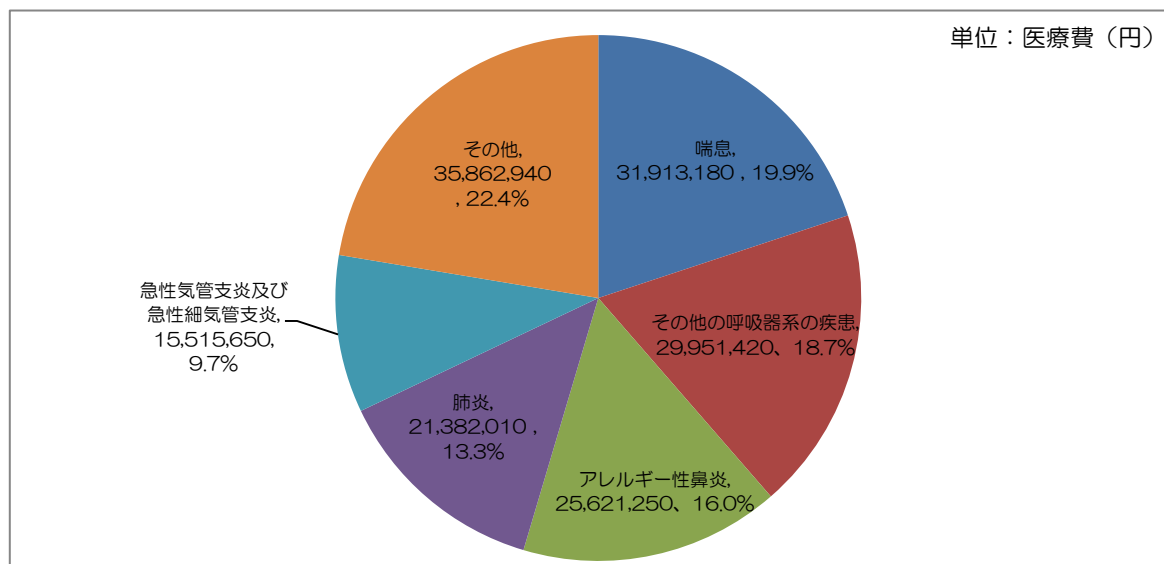
※対象診療年以内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

※⑧不明…①～⑦の傷病名組み合わせに該当せず、起因が特定できない患者。

- X. 呼吸器系の疾患 : 医療費 第8位、患者数 第1位、
患者一人当たり医療費 第13位

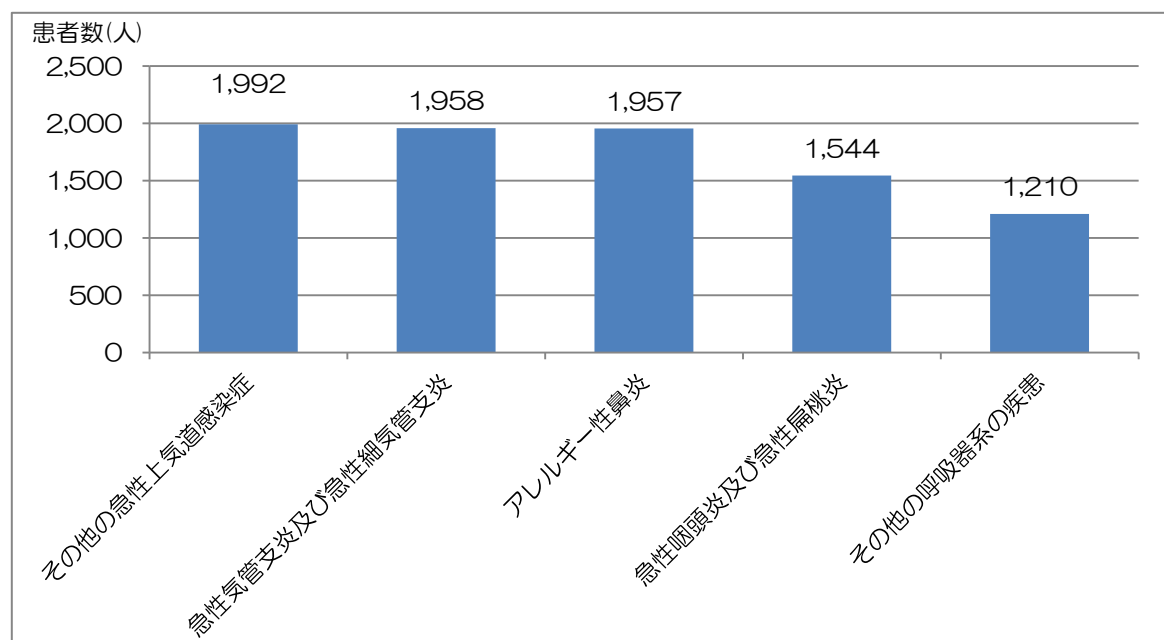
患者数が第1位であり、30歳までの医療費の割合の高い「X. 呼吸器系の疾患」について、中分類別にみると、「喘息」の医療費が約3,191万円で19.9%を占めている。その次に鼻炎、インフルエンザ等が含まれる「その他の呼吸器系の疾患」、「アレルギー性鼻炎」の医療費がそれぞれ15%以上となっており、高い割合を占めている。

患者数では、「その他の急性上気道感染症」、「急性気管支炎及び急性細気管支炎」、「アレルギー性鼻炎」の患者数が1,900人以上となっている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図 14 呼吸器系の疾患の医療費の内訳



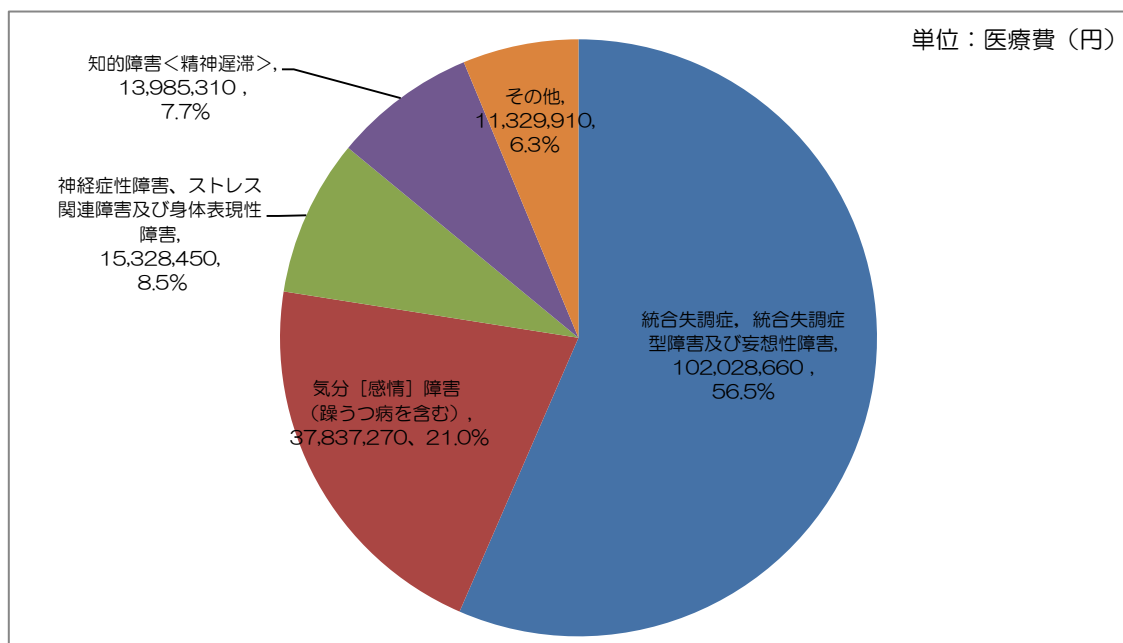
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 15 呼吸器系の疾患の患者数

- V. 精神及び行動の障害 : 医療費 第6位、患者数 第14位、
患者一人当たり医療費 第1位

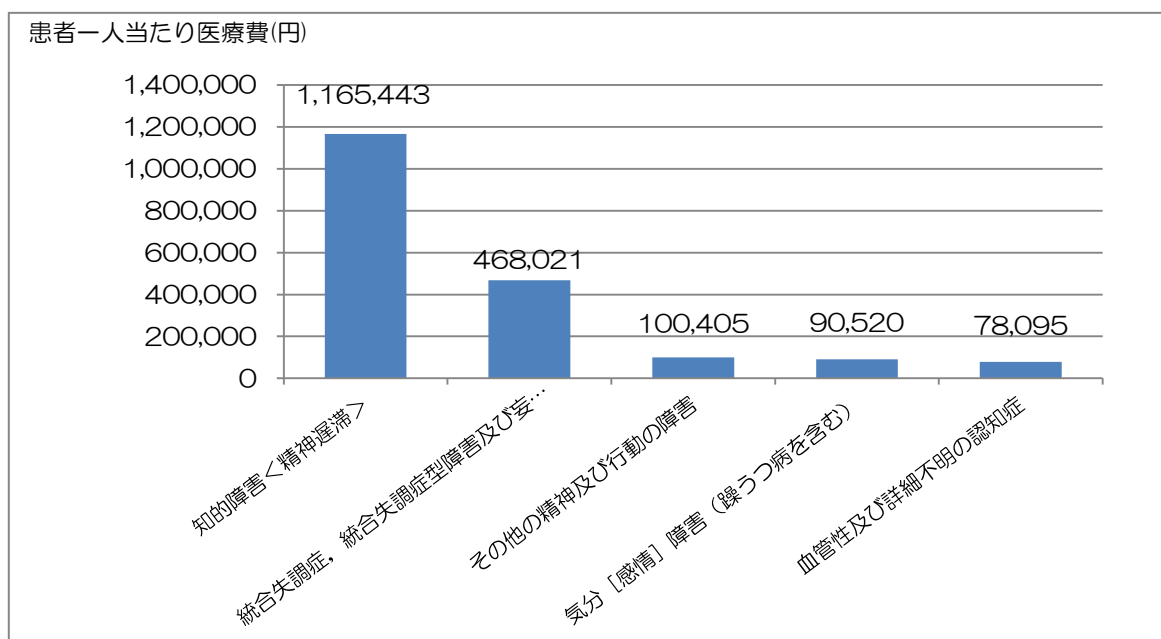
患者一人当たり医療費が最も高額で、30歳～40歳代の医療費割合が高い「V. 精神及び行動の障害」について、中分類別にみると、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の医療費が約1億203万円で56.5%を占めている。

患者一人当たり医療費では、「知的障害＜精神遅滞＞」の患者一人当たり医療費が約117万円、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者一人当たり医療費が約47万円となっている。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分（12カ月分）。
※医療費統計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他系統と一致しない。

図 16 精神及び行動の障害の疾病別割合



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分（12カ月分）。

図 17 精神及び行動の障害の患者一人当たり医療費

③ 高額レセプトの原因となる疾病傾向

1 件当たりの点数が 5 万点以上である高額レセプトの要因となる疾病をみると、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」、「知的障害＜精神遅滞＞」、「ウイルス肝炎」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の患者一人当たり医療費が高くなっている。

表 10 高額レセプトの要因となる疾病

	中分類疾病項目	医療費 (円)	患者一人当たり 医療費(円)
1	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,556,410	3,556,410
2	知的障害＜精神遅滞＞	3,532,760	3,532,760
3	ウイルス肝炎	74,077,060	3,086,544
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物	30,367,200	3,036,720
5	関節症	11,557,850	2,889,463
6	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	13,848,980	2,769,796
7	くも膜下出血	5,537,720	2,768,860
8	その他の循環器系の疾患	12,328,340	2,054,723
9	その他の神経系の疾患	14,228,540	1,778,568
10	その他の感染症及び寄生虫症	6,387,260	1,596,815

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成 27 年 2 月～平成 28 年 1 月診療分（12 カ月分）。

(3) 医療機関受診状況

医療機関への過度な受診の可能性がある重複受診者数や頻回受診者数、過度な服薬の可能性がある重複服薬者数は以下のとおりである。12 カ月間の実人数として、重複受診者は 89 人、頻回受診者は 191 人、重複服薬者は 149 人おり、月により多少の人数のばらつきは見られるが一定数以上の対象者がいることがわかる。

表 11 重複受診者数

	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
重複受診者数（人）※	7	12	7	9	8	10	11	7	10	13	6	17
12カ月間の延べ人数											117	
12カ月間の実人数											89	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。

透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

表 12 頻回受診者数

	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
頻回受診者数（人）※	39	37	36	38	47	34	36	36	50	35	30	17
12カ月間の延べ人数											435	
12カ月間の実人数											191	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

表 13 重複服薬者数

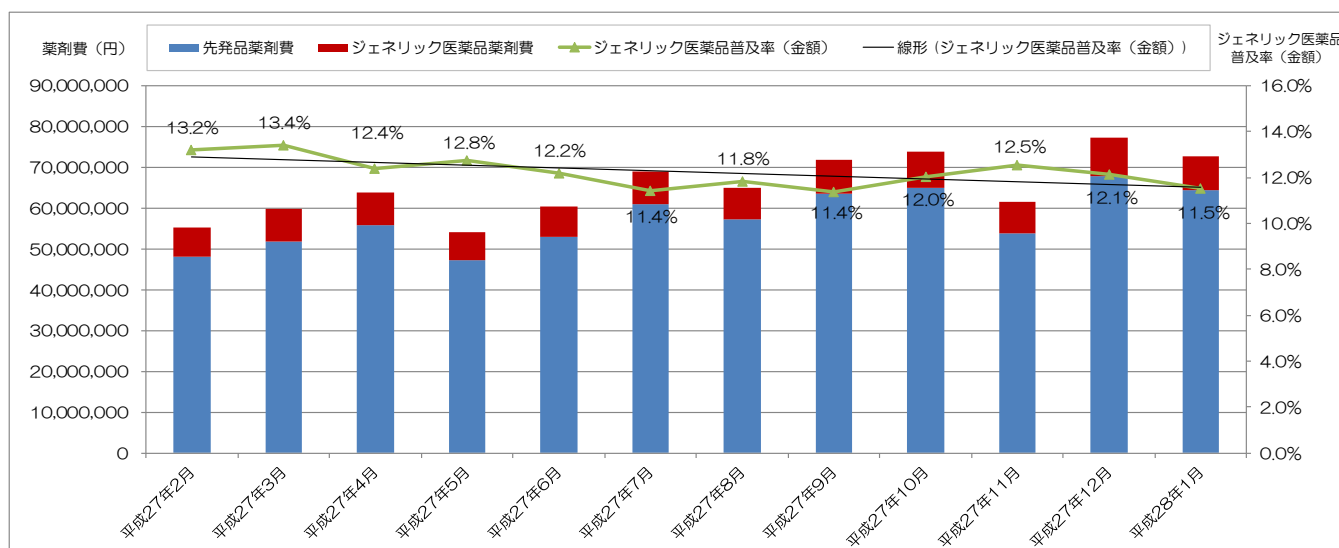
	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
重複服薬者数（人）※	7	18	26	23	26	22	26	30	26	24	39	35
12カ月間の延べ人数											302	
12カ月間の実人数											149	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

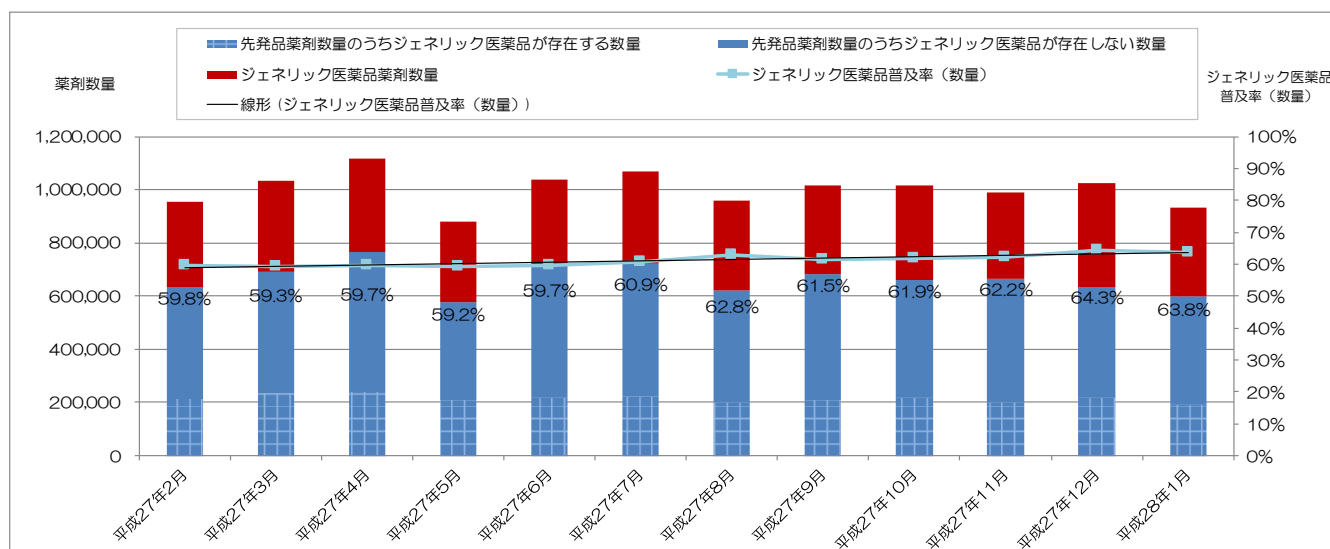
(4) 後発医薬品普及状況

診療年月毎の全体の薬剤費総額に対する後発医薬品（以下、ジェネリック医薬品）薬剤費の割合は、平成27年2月～平成28年1月診療分の12カ月分での平均で12.2%である。全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合は61.2%である。



※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 18 ジェネリック医薬品普及状況（金額）



※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

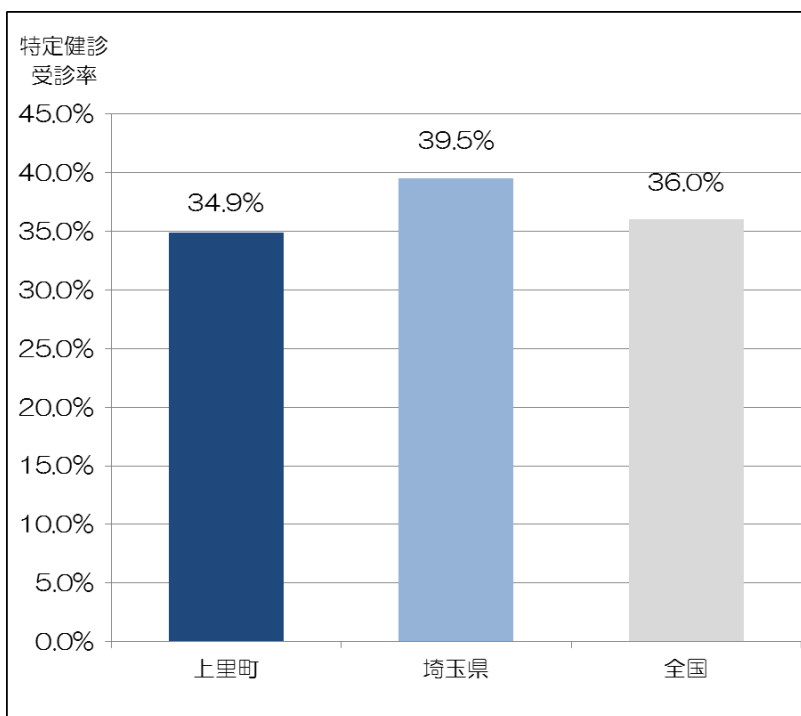
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量 / (先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量 + ジェネリック医薬品薬剤数量)

図 19 ジェネリック医薬品普及状況（数量）

3. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査受診状況

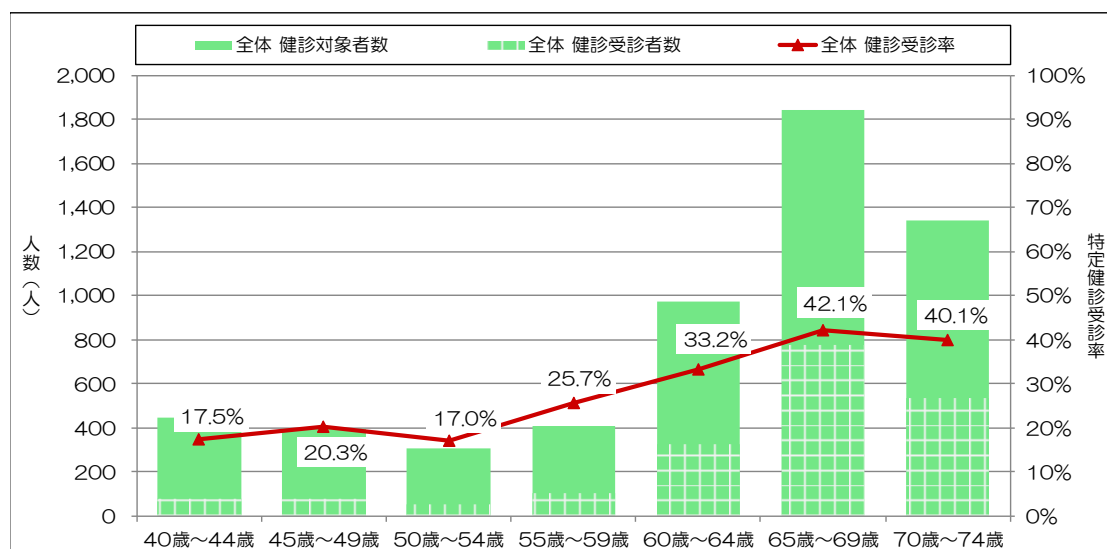
特定健康診査の受診率は34.9%であり、埼玉県と比較すると4.6ポイント低くなっており、全国と比較しても1.1ポイント低い割合となっている。



※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

図 20 特定健康診査受診率（平成 27 年度）

年齢階層別の特定健康診査の受診率をみると、40 歳代は 20%程度であるが、70 歳代になると 40%を超える。65 歳～69 歳の健診対象者数、健診受診者数が最も多くなっており、受診率も 42.1%である。



※国保データベース（KDB）システム 「健診の状況」より

図 21 特定健康診査年齢階層別受診率（平成 27 年度）

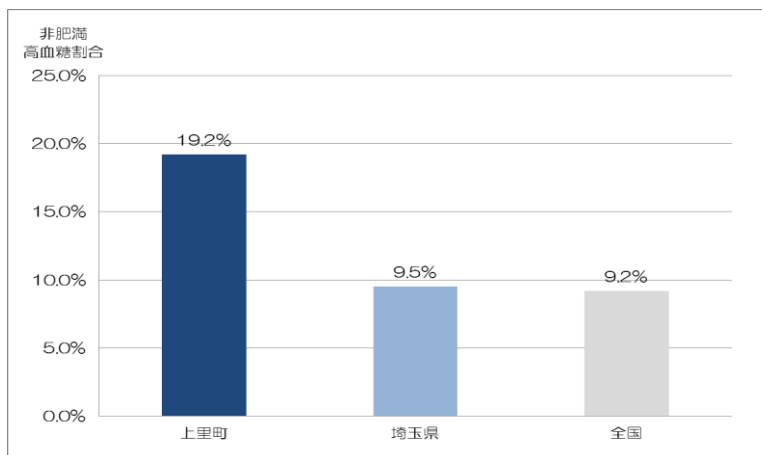
メタボ割合、メタボ予備群の割合をみると、男性のメタボ割合は、埼玉県や全国と比較して高い水準となっている。女性に関しては、メタボ割合、予備群割合ともに埼玉県、全国よりも低くなっている。

表 14 メタボ割合（平成 27 年度）

	メタボ割合		予備群割合		非肥満高血糖割合
	男性	女性	男性	女性	
上里町	27.3%	8.6%	13.7%	4.7%	19.2%
埼玉県	26.2%	9.1%	17.4%	5.7%	9.5%
全国	26.6%	9.2%	17.1%	5.8%	9.2%

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

非肥満高血糖割合をみると、19.2%となっており、埼玉県や全国と比較して高い割合となっている。

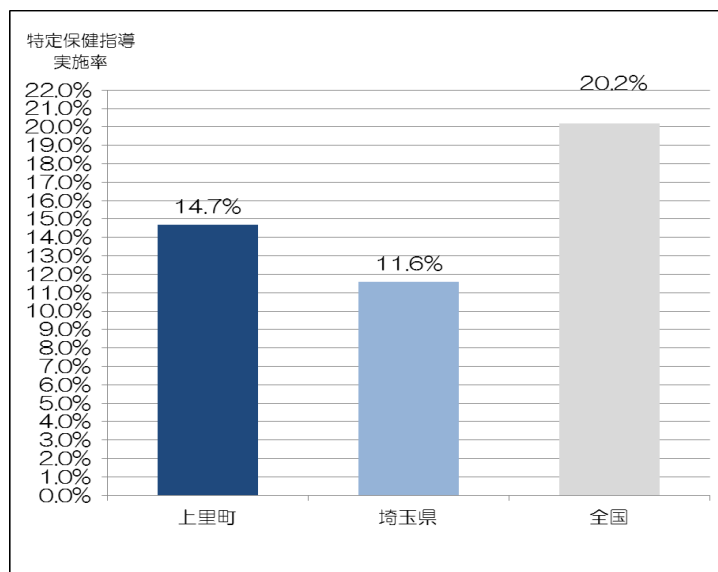


※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

図 22 非肥満高血糖割合（平成 27 年度）

（2）特定保健指導実施状況

特定保健指導の実施率は 14.7%であり、埼玉県と比較すると高い割合となっているが、全国と比較すると 5.5 ポイント低い割合になっている。



※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

図 23 特定保健指導実施率（平成 27 年度）

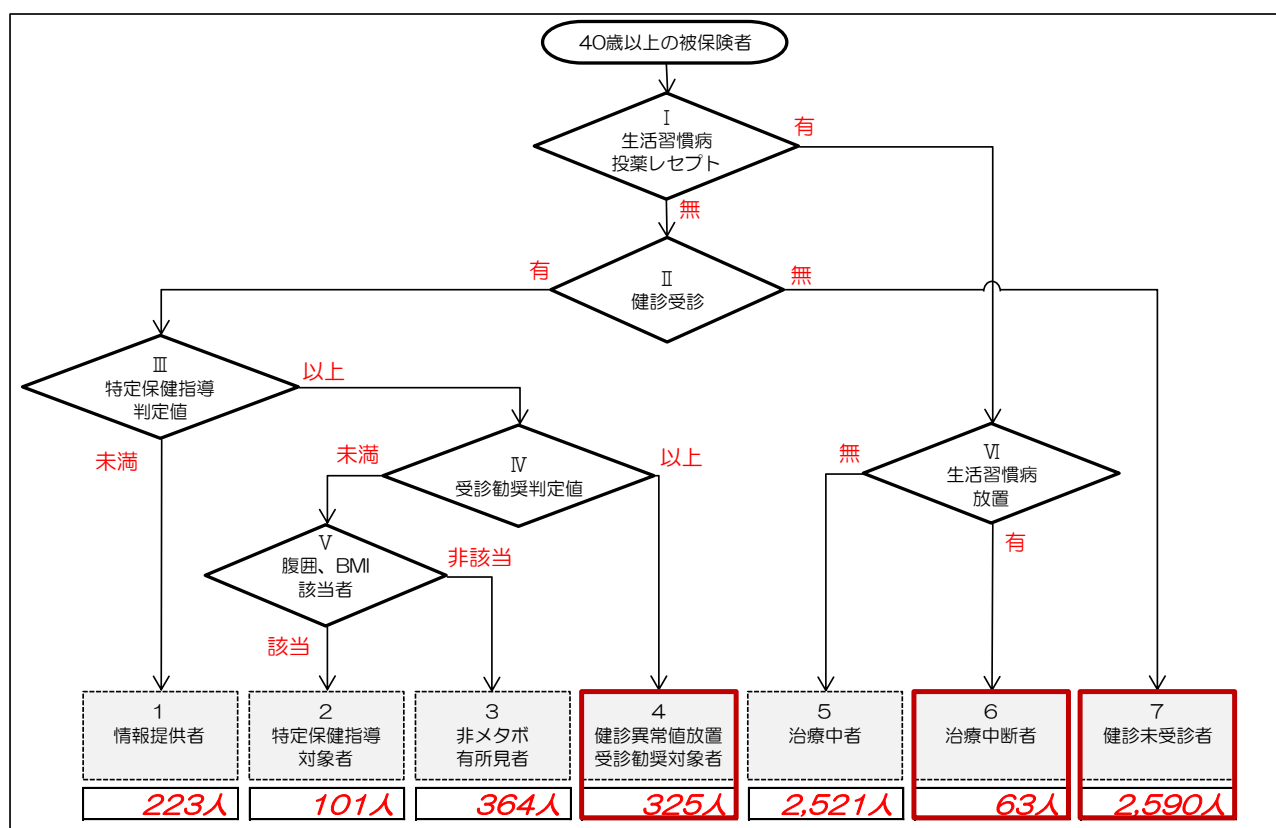
(3) 特定健康診査及びレセプトによる指導対象者の状況

特定健康診査の受診状況と医療機関への通院状況から、下記のとおり分類した。

その中で「4 健診異常値放置受診勧奨対象者」は、特定健康診査の結果値が受診勧奨領域にあるが、生活習慣病に関するレセプトが発生していない（医療機関へ通院していない）人であり、325 人いることがわかる。

また、「6 治療中断者」は、生活習慣病で医療機関を通院していたが、治療行為を中断してしまっている人であり、63 人いることがわかる。

最後に、「7 健診未受診者」は、医療機関へも通院しておらず、また特定健康診査も受診していない人で、健康な人も含まれていると考えられるが、健康状態が不明な人であり、2,590 人いることがわかる。



※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※健診データは平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)を集計。

図 24 健診及びレセプトによる指導対象者の状況

(4) 特定健康診査受診有無による医療費の状況

特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病の一人当たり医療費を比較すると、疾病の種類に関わらず特定健康診査受診者の一人当たり医療費の方が低くなっている。

表 15 特定健康診査受診有無による医療費の状況

【特定健康診査未受診者】

罹患状態 (投薬のある患者)	患者数(人)※	医療費(円)※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
1 疾病患者合計	938	179,207,950	346,633,540	525,841,490	560,599
高血圧症	625	123,209,470	251,884,800	375,094,270	600,151
脂質異常症	218	32,530,990	59,628,420	92,159,410	422,750
糖尿病	95	23,467,490	35,120,320	58,587,810	616,714
2 疾病併存患者合計	701	148,215,390	307,633,580	455,848,970	650,284
高血圧症・糖尿病	136	58,064,230	105,117,150	163,181,380	1,199,863
糖尿病・脂質異常症	85	11,038,980	47,875,340	58,914,320	693,110
脂質異常症・高血圧症	480	79,112,180	154,641,090	233,753,270	486,986
3 疾病併存患者合計 高血圧・脂質異常症・糖尿病	172	49,245,060	117,183,480	166,428,540	967,608

【特定健康診査受診者】

罹患状態 (投薬のある患者)	患者数(人)※	医療費(円)※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
1 疾病患者合計	511	26,586,430	127,688,430	154,274,860	301,908
高血圧症	295	17,959,650	73,717,770	91,677,420	310,771
脂質異常症	181	7,655,830	36,992,910	44,648,740	246,678
糖尿病	35	970,950	16,977,750	17,948,700	512,820
2 疾病併存患者合計	272	28,460,400	81,475,790	109,936,190	404,177
高血圧症・糖尿病	31	2,591,880	15,758,770	18,350,650	591,956
糖尿病・脂質異常症	31	2,609,400	13,537,820	16,147,220	520,878
脂質異常症・高血圧症	210	23,259,120	52,179,200	75,438,320	359,230
3 疾病併存患者 高血圧・脂質異常症・糖尿病	50	1,149,210	16,438,450	17,587,660	351,753

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※健診データは平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)を集計。・

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…対象診療年月における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。・

第3章 過去の取り組みの考察

平成18年の医療制度改革における「高齢者の医療の確保に関する法律」の改正に伴い、平成20年度から特定健康診査・特定保健指導の仕組みが導入され、医療保険者にその実施が義務付けられた。その他実施してきた保健事業とその課題は以下のとおりである。

表 16 過去の取り組みの考察

事業名	事業の目的・概要	対象	開始年度	実施状況	課題
特定健康診査	特定健康診査	疾病の発症予防、早期発見のため健診を実施する。	40歳～74歳の被保険者	平成20年度 平成27年度 受診者数 1,975 人 受診率 35.0%	受診率が低い。 特定の被保険者のみ受診する傾向がみられる。
	特定健康診査受診勧奨（ハガキ送付）	受診率向上を目的に、未受診者に対して保健師等が電話にて受診勧奨を行う。	未受診者	平成25年度 平成27年度 実施者数 4,360 人	未受診者全員に送付できていない。
	特定健康診査受診勧奨（電話勧奨）	受診率向上を目的に、未受診者に対して保健師等が電話にて受診勧奨を行う。	未受診者	平成25年度 平成27年度 実施者数 133 人 実施後受診者数（割合） 48（36.9）人（%）	電話できる対象者が限られている。
	広報	特定健康診査の受診勧奨を行う。	町民全員	平成20年度 ラジオ、テレビ、広報紙でのPRを実施	効果を把握することが難しい。
	イベントでの啓発	特定健康診査の受診勧奨を行う。	町民全員	平成28年度 こむぎっちちよっくら健康体操大交流会でPR	効果を把握することが困難。 啓発対象が被保険者だけにならない。
	人間ドック助成	人間ドック受診者の健診データを取得し特定健康診査の受診率を上げる。	人間ドック受診者	昭和60年度 平成27年度 申請件数 341 件	特定の被保険者のみ受診する傾向がみられる。
特定保健指導	特定保健指導	生活習慣改善のための指導を実施する。	特定保健指導対象者	平成20年度 平成27年度 実施者数 42 人 実施率 14.7 %	実施率が減少している。
医療費適正化事業	ジェネリック医薬品利用差額通知	被保険者負担の軽減、国民健康保険の医療費抑制のために、通知を送付する。	軽減額が一定以上となる被保険者	平成25年度 平成27年度 発送件数 365 件	効果が検証できない。
その他の保健事業	各種がん検診	がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施する。	対象年齢の町民	— 平成27年度 ・胃がん受診率 8.1% ・大腸がん受診率 15.8% ・肺がん受診率 21.2% ・乳がん受診率 41.9% ・子宮頸がん受診率 39.7%	受診率が低い。

第4章 実施事業

1. 健康課題の抽出と対策の方向性

第2章、第3章を踏まえ、健康課題の抽出と対策の方向性を検討する。

現状から見える主な健康課題		対策の方向性	
「循環器系の疾患」の医療費が最も多くなっており、その中で「高血圧性疾患」の医療費の割合が高く、患者数が多くなっている。また、重症化することで発症する「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」の割合も高くなっている。 「内分泌、栄養及び代謝疾患」の中で「糖尿病」や脂質異常症が含まれる「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費の割合が高くなっている。 「腎尿路生殖器系の疾患」の中で「腎不全」の医療費の割合が高くなっている。腎不全のうち「糖尿病性腎症」を起因とした人工透析患者が多く、人工透析患者は年間500万円近い医療費がかかってくる。		「循環器系の疾患」（高血圧症）や「内分泌、栄養及び代謝疾患」（脂質異常症、糖尿病）は予防対策が可能であり、特定健診データからリスク者を特定可能であるため、最も介入効果が期待される疾病として位置づけ対策を講じていく。 人工透析の起因となる「糖尿病性腎症」をテーマに対策を講じていく。糖尿病の重症化により「糖尿病性腎症」、「腎不全」、「人工透析」になるのを予防する。	
		生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、非肥満者も含めた早期治療のための医療機関への受診勧奨を行う。対象者が自らのリスクを正しく認識できていない可能性も考えられるため、健診データ等を活用した対策を講じていく。 生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、継続的な受診を促す医療機関への受診勧奨を行う。	
		生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、継続的な受診を促す医療機関への受診勧奨を行う。	
「新生物」の医療費、患者一人当たり医療費が高くなっており、その中で「その他の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」の医療費の割合が高くなっている。		「悪性新生物（がん）」の早期発見、早期治療開始を目指し、各種がん検診の受診率を上げる。	
40歳代までは、「呼吸器系の疾患」や「メンタル系の疾患」の医療費が高くなっている。		「喘息」予防のための生活習慣や生活環境の改善、「メンタル系の疾患」の早期治療の必要性など、加入者へ対して積極的な情報提供を行う。	
医療機関への過度な受診や過度な服薬の可能性があり、重複受診者は89人、頻回受診者は191人、重複服薬者は149人いる。		過度な治療や服薬の可能性のある対象者へ受療習慣、生活習慣の改善を促す指導を行う。	
ジェネリック医薬品の普及率は61.2%である。		ジェネリック医薬品への切り替えを促す通知を送付する。	
本町の特徴		対策の検討時に留意すべき点	
基本情報	60歳以上の国保加入者の割合が埼玉県や全国と比べて高くなっている。 - 全国と比較して人口当たりの医療機関数や医師数は少なくなっている。 - 男性の平均寿命は79.6歳、女性の平均寿命は85.3歳であり、埼玉県、全国と比較して低くなっている。	60歳以上の加入者への対策を重視するとともに、それ以前の世代への対策を検討。 - 医療資源の効率的に活用することを重視。	
保健事業の実施状況	- 特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率が埼玉県、全国と比較して低い。 - 生活習慣病のリスク保有者への対策が特定健診受診者。 - がん検診の受診率が低い。	- 特定健康診査・特定保健指導・がん検診の受診勧奨の促進とメニューの見直し。 - 生活習慣病のリスク保有者に対する支援を検討。	

図 25 健康課題の抽出と対策の方向性

2. 実施事業の選定

現状の実施事業や対策の方向性を鑑み、実施事業を選定する。

中長期的な視点から、費用対効果の大きな事業を選定する。

対策の方向性	実施事業	
「循環器系の疾患」（高血圧症）や「内分泌、栄養及び代謝疾患」（脂質異常症、糖尿病）は予防対策が可能であり、特定健診データからリスク者を特定可能であるため、最も介入効果が期待される疾病として位置づけ対策を講じていく。	①特定健康診査 特定健康診査の受診率向上を目指し、広報・啓発活動、受診勧奨事業を実施する。	強化
人工透析の起因となる「糖尿病性腎症」をテーマに対策を講じていく。糖尿病の重症化により「糖尿病性腎症」、「腎不全」、「人工透析」になるのを予防する。	②特定保健指導 特定保健指導の実施率向上を目指し、広報・啓発活動、受診勧奨事業を実施する。	強化
生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、非肥満者も含めた早期治療のための医療機関への受診勧奨を行う。対象者が自らのリスクを正しく認識できていない可能性も考えられるため、健診データ等を活用した対策を講じていく。	③重症化予防指導 生活習慣病のうち、重症化のプロセスが明らかになっており、指導の効果がでている糖尿病患者へ対して指導を実施する。	新規
生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、継続的な受診を促す医療機関への受診勧奨を行う。	④健診異常値未治療者への受診勧奨 非特定保健指導の対象外となるが、血糖値が高い非肥満者のリスク保有者も含めて医療機関への受診勧奨を実施する。	強化
「悪性新生物（がん）」の早期発見、早期治療開始を目指し、各種がん検診の受診率を上げる。	⑤治療中断者への受診勧奨 治療を中断し、重症化することで高額な医療費が必要となる腎不全を発症する可能性がある糖尿病の治療中断者に対して、医療機関への受診勧奨を実施する。	強化
「喘息」予防のための生活習慣や生活環境の改善、「メンタル系の疾患」の早期治療の必要性など、加入者へ対して積極的な情報提供を行う。	⑥がん検診 がん検診の受診率向上を目指し、広報・啓発活動、受診勧奨事業を実施する。	強化
過度な治療や服薬の可能性のある対象者へ受療習慣、生活習慣の改善を促す指導を行う。	⑦多受診者指導 過度な治療や服薬の可能性のある対象者へ受療習慣、生活習慣の改善を促す指導を実施する。	継続検討
ジェネリック医薬品への切り替えを促す通知を送付する。	⑧ジェネリック医薬品切り替え通知 先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ通知書を送付する。	継続検討
	●オーダーメイド情報提供 健康状況に応じた加入者ごとに適した情報提供や歩数、血圧管理ができる仕組みを提供する。	継続検討



図 26 実施事業の選定

3. 実施事業の内容

本計画に位置づける各保健事業の概要と目標を以下のとおり定める。

表 17 実施事業の内容

実施事業・事業概要		対 象	アウトプット
① 特定健康診査 疾病の発症予防、早期発見のため健診を実施する。		40歳～74歳の被保険者	受診者数 3,300人 受診率 60%
目標達成のための取組	・ 特定健康診査受診勧奨（ハガキ送付） 未受診者にハガキで受診勧奨を行う。	未受診者	送付件数 3,000件 送付後の受診者数 1,400人
	・ 特定健康診査受診勧奨（電話勧奨） 未受診者に対して保健師等が電話にて受診勧奨を行う。	未受診者	電話件数 150件 電話後の受診率 50%
	・ 広報 ラジオ、テレビ、広報紙でのPRを実施する。	町民全員	広報掲載件数 6回
	・ イベントでの啓発 各種イベントでPRを実施する。	町民全員	イベント参加件数 2回 （さくらまつり、ふれあいまつり 等）
	・ 人間ドック助成 人間ドックの受診者に補助金を出す。	人間ドック受診者	受診者数 500人
② 特定保健指導 生活習慣改善のための指導を実施する。		特定保健指導対象者	実施者数 170人 実施率 60%
た 目 め 標 の 達 成 組 の	・ 特定保健指導利用勧奨（ハガキ送付） 未受診者にハガキで受診勧奨を行う。	未実施者	送付件数 85件 送付後の受診率 50%
③ 糖尿病性腎症重症化予防対策事業 糖尿病性腎症重症化予防のための指導を実施する。		健診異常値の被保険者	指導実施者数 60人
目標達成のための取組	・ 重症化予防指導（※） 糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定して対象者に対して、専門職が6カ月の面談指導と電話フォローを実施する。	糖尿病性腎症患者	指導実施率 50%
	・ 健診異常値未治療者への受診勧奨（※） 糖尿病関連の検査項目に異常値があるにも関わらず医療機関への受診が確認できない対象者にハガキや電話で受診勧奨を行う。	健診異常値未治療者（糖尿病）	送付件数 対象者全員 電話件数 対象者全員 勧奨後の受診率 50%
	・ 治療中断者への受診勧奨（※） 糖尿病の治療を受けていたにも関わらず、一定期間医療機関への受診が確認できない対象者にハガキや電話で受診勧奨を行う。	治療中断者（糖尿病）	送付件数 対象者全員 電話件数 対象者全員 勧奨後の受診率 50%
④ 多受診者指導 重複受診者、頻回受診者に対して面談指導と電話フォローを実施する。		重複受診者 頻回受診者	継続的指導者数 5人
⑤ ジェネリック医薬品切り替え通知 先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付する。		軽減額が一定以上となる被保険者	送付件数 対象者全員
⑥ がん検診 がんの早期発見・早期治療を図るために健診を実施する。		対象年齢の町民	・ 胃がん受診率 40% ・ 大腸がん受診率 40% ・ 肺がん受診率 40% ・ 乳がん受診率 50% ・ 子宮頸がん受診率 50%

※上記③の事業については、埼玉県、埼玉県国民健康保険団体連合会の実施する生活習慣病重症化予防対策事業に参加し実施。

アウトカム

特定保健指導者の減少

特定健康診査受診者における特定保健指導対象者の割合の減少（10%未満）

医療費の削減

ジェネリック医薬品普及率の向上（金額ベースシェア 50%）

糖尿病性腎症重症化予防対策事業による医療費削減（7,500 万）

第5章 その他

1. データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表する。

2. データヘルス計画の改定

実施事業における目的及び目標の達成状況について評価を行うこととし、達成状況により次年度実施計画の見直しを行う。本計画は、広報、ホームページ等で公表する。

3. 事業運営上の留意事項

(1) 各種検（健）診等の連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検（健）診等とも可能な限り連携して実施するものとする。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導は、被保険者のうち40歳から74歳までの方が対象になる。しかし、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

4. 個人情報の保護

特定健康診査及び特定保健指導に関わる個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」「上里町個人情報保護条例」に基づき管理する。

また、特定健康診査及び特定保健指導にかかわる業務を外部に委託する際も同様に取られるよう委託契約書に定める。

資 料 編

基礎統計

			平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月
A	被保険者数（人）		8,869	8,900	8,961	8,835	8,794	8,792	8,775
B	レセプト件数（件）	入院外	5,412	5,822	5,685	5,446	5,648	5,734	5,430
		入院	149	153	140	133	136	146	144
		調剤	3,668	3,870	3,832	3,560	3,675	3,756	3,543
		合計	9,229	9,845	9,657	9,139	9,459	9,636	9,117
C	医療費（円） ※		193,082,740	197,460,150	205,121,110	181,337,110	198,556,990	211,792,000	192,873,100
D	患者数（人） ※		4,245	4,423	4,386	4,158	4,262	4,294	4,130
C/D	患者一人当たりの平均医療費（円）		45,485	44,644	46,767	43,612	46,588	49,323	46,701
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費（円）		21,771	22,187	22,890	20,525	22,579	24,089	21,980
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費（円）		20,921	20,057	21,241	19,842	20,991	21,979	21,155

			平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数（人）		8,806	8,850	8,841	8,780	8,771	8,831	
B	レセプト件数（件）	入院外	5,581	5,752	5,482	5,697	5,345	5,586	67,034
		入院	151	159	141	141	131	144	1,724
		調剤	3,677	3,782	3,643	3,787	3,587	3,698	44,380
		合計	9,409	9,693	9,266	9,625	9,063	9,428	113,138
C	医療費（円） ※		211,639,360	228,100,220	198,921,500	217,703,660	205,694,710	203,523,554	2,442,282,650
D	患者数（人） ※		4,203	4,345	4,212	4,340	4,137	4,261	51,135
C/D	患者一人当たりの平均医療費（円）		50,354	52,497	47,227	50,162	49,721	47,761	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費（円）		24,034	25,774	22,500	24,795	23,452	23,046	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費（円）		22,493	23,532	21,468	22,619	22,696	21,587	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

高額（5万点以上）レセプト件数及び割合

		平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月
A	レセプト件数全体（件）	9,229	9,845	9,657	9,139	9,459	9,636	9,117
B	高額（5万点以上）レセプト件数（件）	52	56	61	44	47	59	45
B/A	件数構成比（％）	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%
C	医療費全体（円） ※	193,082,740	197,460,150	205,121,110	181,337,110	198,556,990	211,792,000	192,873,100
D	高額（5万点以上）レセプトの医療費（円）	49,383,160	44,623,160	54,687,160	42,063,430	48,451,910	60,814,290	45,375,560
D/C	金額構成比（％）	25.6%	22.6%	26.7%	23.2%	24.4%	28.7%	23.5%

		平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数全体（件）	9,409	9,693	9,266	9,625	9,063	9,428	113,138
B	高額（5万点以上）レセプト件数（件）	65	66	61	64	69	57	689
B/A	件数構成比（％）	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	
C	医療費全体（円） ※	211,639,360	228,100,220	198,921,500	217,703,660	205,694,710	203,523,554	2442282650
D	高額（5万点以上）レセプトの医療費（円）	62,952,300	72,128,120	58,948,650	67,770,060	67,509,350	56,225,596	674,707,150
D/C	金額構成比（％）	29.7%	31.6%	29.6%	31.1%	32.8%	27.6%	

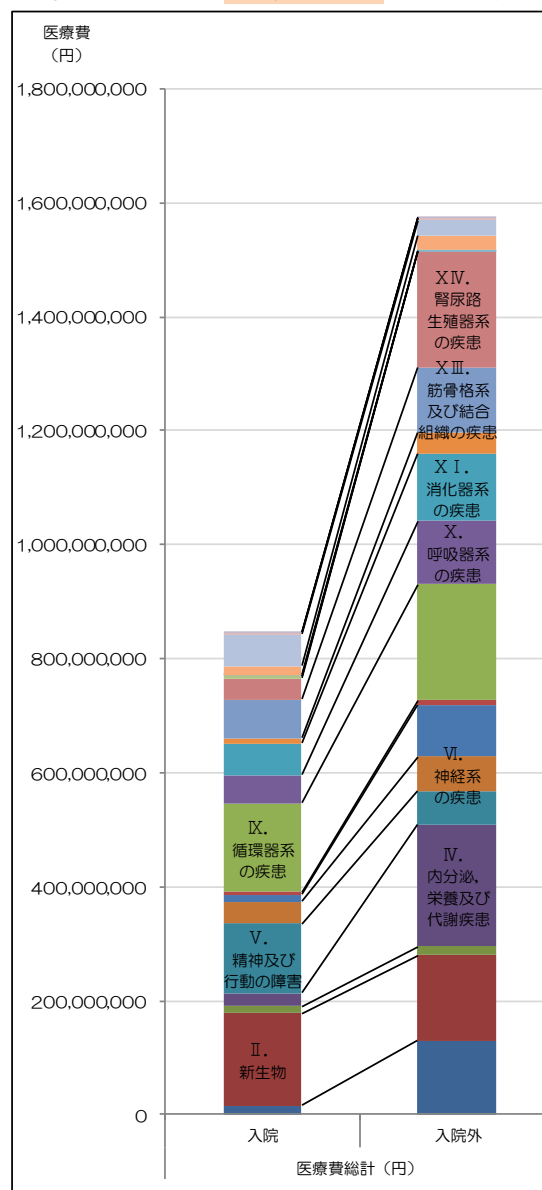
※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費全体…対象診療年月の医科、調剤の電子レセプト全体での医療費。

大分類による疾病別医療費統計（入院・入院外）

疾病項目（大分類）	医療費総計（円） ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	16,180,680	129,884,360
II. 新生物	160,710,010	149,505,660
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	13,146,220	15,465,970
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	22,692,910	214,809,290
V. 精神及び行動の障害	122,822,210	57,687,390
VI. 神経系の疾患	37,665,830	60,915,720
VII. 眼及び付属器の疾患	12,128,030	91,205,340
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,733,330	7,229,620
IX. 循環器系の疾患	156,311,800	204,646,430
X. 呼吸器系の疾患	50,029,440	110,217,010
XI. 消化器系の疾患	54,721,100	119,485,970
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,357,860	36,689,390
XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,617,830	114,670,390
XIV. 腎尿路生殖系系の疾患	36,944,790	202,774,680
XV. 妊娠、分娩及び産後	5,148,190	618,940
XVI. 周産期に発生した病態	580,850	88,530
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,085,700	1,312,280
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14,499,000	25,435,070
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	56,443,100	26,455,580
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,062,300	4,286,830
XXII. 特殊目的用コード	0	0
分類外	13,240	448,290
合計	845,894,420	1,573,832,740

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。



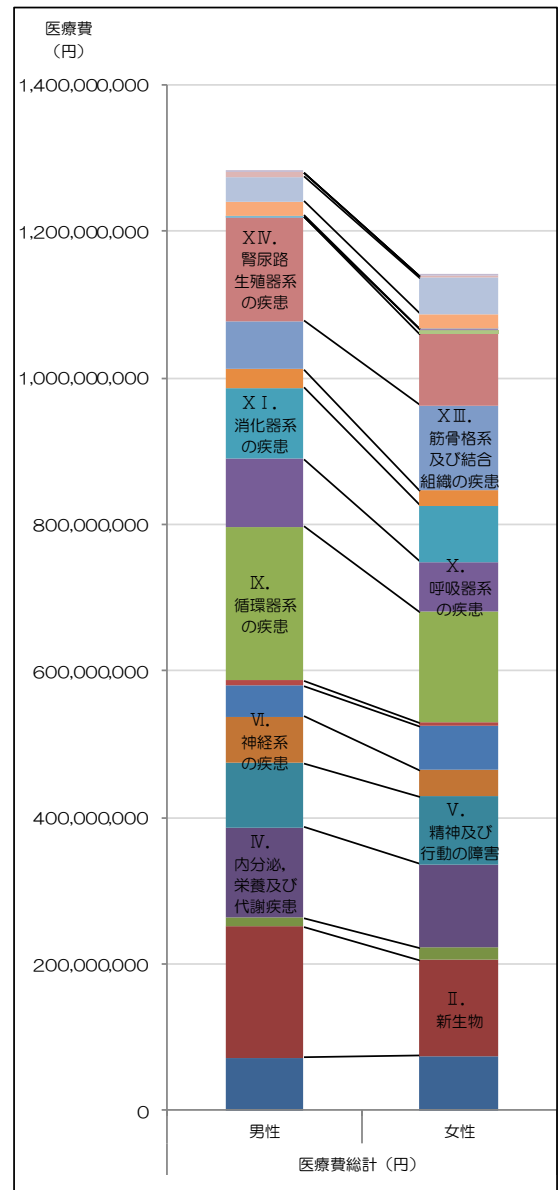
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

大分類による疾病別医療費統計（男性・女性）

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

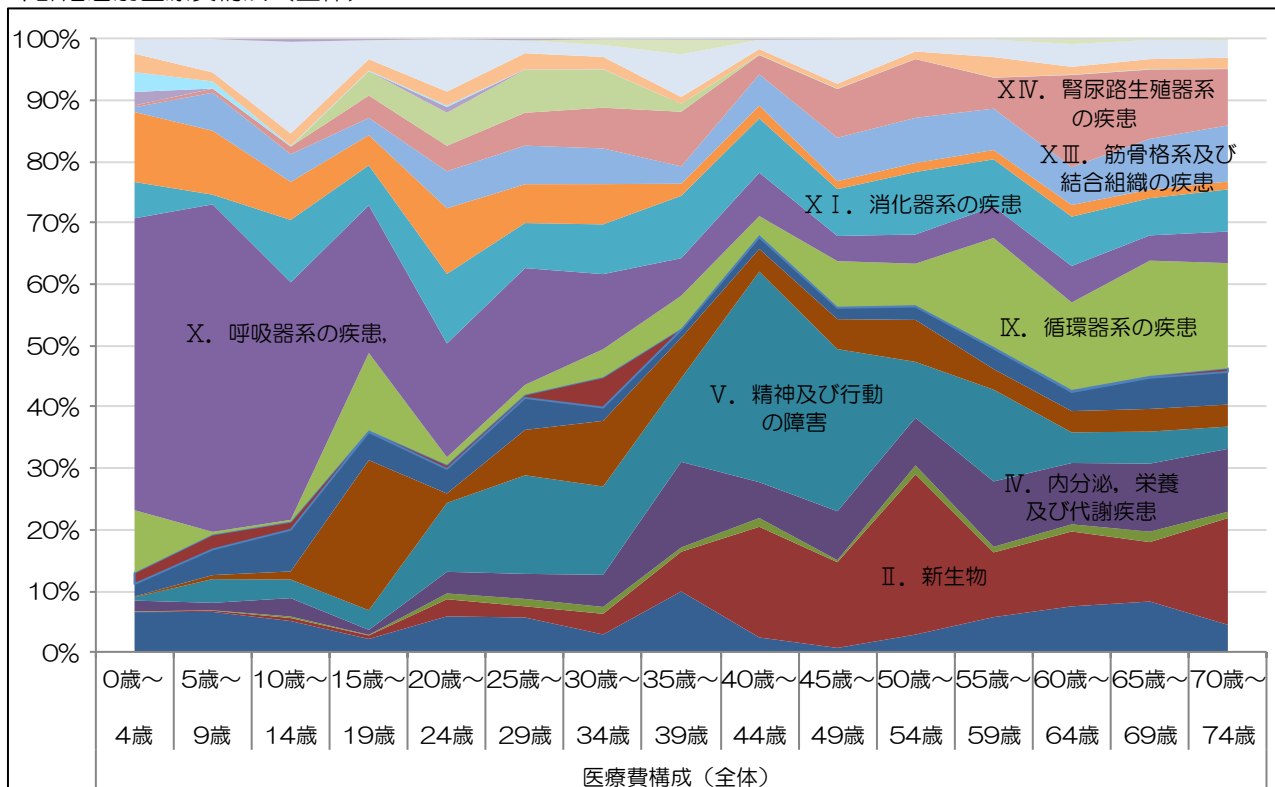
疾病項目（大分類）	医療費総計（円） ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	71,647,650	74,417,390
II. 新生物	179,627,350	130,588,320
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	11,878,620	16,733,570
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	123,018,880	114,483,320
V. 精神及び行動の障害	87,994,740	92,514,860
VI. 神経系の疾患	63,033,880	35,547,670
VII. 眼及び付属器の疾患	42,447,550	60,885,820
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,284,140	4,678,810
IX. 循環器系の疾患	210,259,960	150,698,270
X. 呼吸器系の疾患	91,697,470	68,548,980
X I. 消化器系の疾患	97,440,140	76,766,930
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,443,630	20,603,620
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	65,602,900	116,685,320
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	142,547,610	97,171,860
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	0	5,767,130
X VI. 周産期に発生した病態	60,380	609,000
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,799,530	598,450
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,540,220	20,393,850
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	33,846,820	49,051,860
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,414,670	1,934,460
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	259,850	201,680
合計	1,280,845,990	1,138,881,170



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

年齢階層別医療費構成（全体）



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

賀美	長幡	七本木	神保原	その他
----	----	-----	-----	-----

大分類による疾病別医療費統計(賀美)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,589,190	5.6%	8	866	12	342	8	63,126	8
II. 新生物	50,816,770	13.2%	2	904	10	294	10	172,846	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6,364,010	1.7%	15	367	15	131	15	48,580	11
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	41,034,650	10.7%	3	3,625	2	552	3	74,338	6
V. 精神及び行動の障害	39,141,280	10.2%	4	1,068	9	154	14	254,164	1
VI. 神経系の疾患	13,570,910	3.5%	12	1,736	6	269	11	50,449	10
VII. 眼及び付属器の疾患	15,098,510	3.9%	10	1,138	7	433	6	34,870	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,173,730	0.6%	16	213	17	98	16	22,181	16
IX. 循環器系の疾患	60,859,520	15.8%	1	3,824	1	508	4	119,802	3
X. 呼吸器系の疾患	23,971,790	6.2%	7	2,213	4	622	1	38,540	14
X I. 消化器系の疾患	34,475,570	9.0%	5	3,102	3	618	2	55,786	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,986,340	1.8%	13	1,099	8	376	7	18,581	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	21,150,900	5.5%	9	2,183	5	452	5	46,794	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,806,730	6.4%	6	884	11	252	12	98,439	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	576,910	0.1%	17	9	20	5	20	115,382	4
X VI. 周産期に発生した病態	84,300	0.0%	20	4	21	2	21	42,150	13
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	382,220	0.1%	19	85	18	23	18	16,618	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,410,440	1.7%	14	866	12	322	9	19,908	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	14,756,240	3.8%	11	528	14	230	13	64,158	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	462,450	0.1%	18	219	16	57	17	8,113	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	38,950	0.0%	21	12	19	7	19	5,564	21
合計	384,751,410	100.0%		10,622		1,132		339,886	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

賀美	長幡	七本木	神保原	その他
----	----	-----	-----	-----

大分類による疾病別医療費統計(長幡)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	25,410,870	7.6%	5	835	8	304	7	83,588	6
II. 新生物	47,237,330	14.1%	2	681	13	234	10	201,869	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	1,238,830	0.4%	16	304	15	124	14	9,991	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	36,834,890	11.0%	3	2,948	2	460	3	80,076	7
V. 精神及び行動の障害	18,089,060	5.4%	9	771	12	109	15	165,955	3
VI. 神経系の疾患	12,975,600	3.9%	11	1,356	6	220	11	58,980	10
VII. 眼及び付属器の疾患	10,813,720	3.2%	12	842	7	331	6	32,670	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	707,680	0.2%	18	159	17	78	16	9,073	18
IX. 循環器系の疾患	56,009,700	16.7%	1	3,056	1	420	4	133,356	5
X. 呼吸器系の疾患	19,621,670	5.8%	8	1,812	5	540	1	36,336	12
X I. 消化器系の疾患	20,132,520	6.0%	7	2,415	3	514	2	39,168	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,621,980	1.7%	13	819	9	294	9	19,122	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	25,077,540	7.5%	6	1,884	4	392	5	63,973	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	33,070,210	9.8%	4	777	11	207	13	159,759	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	1,643,710	0.5%	15	16	19	7	19	234,816	1
X VI. 周産期に発生した病態	40,620	0.0%	20	11	20	7	19	5,803	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	83,000	0.0%	19	36	18	17	18	4,882	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,529,060	1.3%	14	808	10	304	7	14,898	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,579,670	4.6%	10	518	14	213	12	73,144	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,229,720	0.4%	17	230	16	52	17	23,648	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	4,740	0.0%	21	3	21	3	21	1,580	21
合計	335,952,120	100.0%		8,824		995		337,640	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

賀美	長幡	七本木	神保原	その他
----	----	-----	-----	-----

大分類による疾病別医療費統計(七本木)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	63,849,410	5.8%	9	2,858	12	1,158	8	55,138	10
II. 新生物	143,218,850	13.0%	2	2,529	13	883	10	162,196	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	13,601,810	1.2%	15	954	15	349	15	38,974	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	106,976,850	9.7%	4	10,339	2	1,636	3	65,389	6
V. 精神及び行動の障害	75,529,480	6.9%	8	2,969	10	451	14	167,471	1
VI. 神経系の疾患	41,989,260	3.8%	11	4,571	6	757	12	55,468	8
VII. 眼及び付属器の疾患	52,656,660	4.8%	10	3,530	7	1,260	6	41,791	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,556,870	0.5%	16	681	17	337	16	16,489	18
IX. 循環器系の疾患	159,837,310	14.5%	1	10,940	1	1,477	4	108,218	4
X. 呼吸器系の疾患	75,830,750	6.9%	7	6,779	4	2,082	1	36,422	15
X I. 消化器系の疾患	76,055,780	6.9%	6	9,047	3	2,008	2	37,876	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,742,750	2.0%	13	3,316	8	1,174	7	18,520	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	78,580,990	7.1%	5	6,316	5	1,417	5	55,456	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	127,954,910	11.6%	3	2,898	11	840	11	152,327	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	1,789,820	0.2%	18	51	19	26	19	68,839	5
X VI. 周産期に発生した病態	459,890	0.0%	20	12	21	8	21	57,486	7
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,087,120	0.1%	19	175	18	72	18	15,099	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,320,510	1.5%	14	2,994	9	1,084	9	15,056	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	35,881,220	3.3%	12	1,323	14	677	13	53,000	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,958,400	0.3%	17	725	16	169	17	17,505	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	220,360	0.0%	21	47	20	23	20	9,581	21
合計	1,102,099,000	100.0%		32,708		3,788		290,945	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

賀美	長幡	七本木	神保原	その他
----	----	-----	-----	-----

大分類による疾病別医療費統計(神保原)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	32,428,480	6.2%	8	1,168	13	465	8	69,739	7
II. 新生物	62,647,250	12.0%	2	1,324	10	442	10	141,736	4
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,165,050	1.4%	15	521	15	172	15	41,657	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	48,714,440	9.3%	5	5,044	2	786	3	61,978	9
V. 精神及び行動の障害	33,848,400	6.5%	7	1,547	8	209	14	161,954	2
VI. 神経系の疾患	23,708,910	4.5%	10	2,235	6	357	12	66,412	8
VII. 眼及び付属器の疾患	21,995,540	4.2%	11	1,597	7	565	6	38,930	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,248,240	0.6%	16	361	16	149	16	21,800	19
IX. 循環器系の疾患	75,094,810	14.4%	1	5,529	1	699	4	107,432	5
X. 呼吸器系の疾患	27,624,180	5.3%	9	2,709	5	864	1	31,972	14
X I. 消化器系の疾患	38,413,660	7.4%	6	4,053	3	849	2	45,246	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,867,200	2.1%	13	1,300	12	475	7	22,878	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	52,857,110	10.1%	3	3,442	4	643	5	82,204	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	51,659,380	9.9%	4	1,423	9	361	11	143,101	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	1,698,150	0.3%	18	18	20	9	20	188,683	1
X VI. 周産期に発生した病態	84,570	0.0%	21	7	21	4	21	21,143	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	840,330	0.2%	19	76	18	32	18	26,260	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,318,060	2.0%	14	1,319	11	457	9	22,578	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	16,032,650	3.1%	12	574	14	281	13	57,056	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,069,440	0.4%	17	309	17	65	17	31,838	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	197,480	0.0%	20	22	19	13	19	15,191	21
合計	521,513,330	100.0%		14,882		1,565		333,235	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

賀美	長幡	七本木	神保原	その他
----	----	-----	-----	-----

大分類による疾病別医療費統計(その他)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	742,570	1.4%	11	92	10	54	3	13,751	14
II. 新生物	4,589,340	8.6%	5	39	14	19	14	241,544	3
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	172,630	0.3%	17	33	15	18	15	9,591	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1,049,920	2.0%	10	109	9	30	10	34,997	10
V. 精神及び行動の障害	12,764,300	23.8%	1	126	7	24	13	531,846	1
VI. 神経系の疾患	5,838,040	10.9%	3	175	4	30	10	194,601	4
VII. 眼及び付属器の疾患	727,420	1.4%	12	70	12	45	6	16,165	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	203,330	0.4%	16	24	16	13	16	15,641	13
IX. 循環器系の疾患	4,667,020	8.7%	4	189	3	36	9	129,639	5
X. 呼吸器系の疾患	11,972,070	22.3%	2	286	1	95	1	126,022	6
X I. 消化器系の疾患	2,940,380	5.5%	7	239	2	71	2	41,414	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	529,570	1.0%	14	144	6	53	4	9,992	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,283,360	6.1%	6	171	5	44	7	74,622	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,201,060	2.2%	9	82	11	39	8	30,796	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	58,540	0.1%	18	9	17	6	17	9,757	17
X VI. 周産期に発生した病態	0	0.0%	20	0	20	0	20	0	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,230	0.0%	19	4	18	2	18	2,115	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,948,050	3.6%	8	122	8	48	5	40,584	9
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	382,120	0.7%	15	56	13	29	12	13,177	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	595,300	1.1%	13	2	19	2	18	297,650	2
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	20	0	20	0	20	0	20
分類外	0	0.0%	20	0	20	0	20	0	20
合計	53,669,250	100.0%		874		180		298,163	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない（一件のレセプトに複数の疾病があるため）。・

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない（複数疾病をもつ患者がいるため）。・

中分類による疾病別医療費統計(全体)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。

※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	医療レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,419,727,160	68,758	7,773

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	146,065,040	6.0%		5,884	8.6%		2,349	30.2%		62,182	
0101 腸管感染症	6,097,570	0.3%		1,241	1.8%		818	10.5%		7,454	
0102 結核	781,610	0.0%		104	0.2%		54	0.7%		14,474	
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,046,170	0.0%		222	0.3%		157	2.0%		6,664	
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	5,945,650	0.2%		777	1.1%		416	5.4%		14,292	
0105 ウイルス肝炎	108,195,300	4.5%	4	1,462	2.1%		404	5.2%		267,810	9
0106 その他のウイルス疾患	721,300	0.0%		228	0.3%		178	2.3%		4,052	
0107 真菌症	9,470,380	0.4%		1,242	1.8%		524	6.7%		18,073	
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	79,700	0.0%		21	0.0%		5	0.1%		15,940	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	13,727,360	0.6%		1,158	1.7%		624	8.0%		21,999	
II. 新生物	310,215,670	12.8%		5,613	8.2%		1,913	24.6%		162,162	
0201 胃の悪性新生物	30,182,130	1.2%		673	1.0%		305	3.9%		98,958	
0202 結腸の悪性新生物	31,979,490	1.3%		707	1.0%		358	4.6%		89,328	
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	17,436,390	0.7%		133	0.2%		30	0.4%		581,213	3
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	12,472,840	0.5%		343	0.5%		153	2.0%		81,522	
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	43,417,560	1.8%		408	0.6%		159	2.0%		273,066	8
0206 乳房の悪性新生物	32,820,770	1.4%		478	0.7%		135	1.7%		243,117	10
0207 子宮の悪性新生物	6,029,990	0.2%		226	0.3%		139	1.8%		43,381	
0208 悪性リンパ腫	6,917,040	0.3%		138	0.2%		35	0.5%		197,630	
0209 白血病	7,178,180	0.3%		83	0.1%		18	0.2%		398,788	5
0210 その他の悪性新生物	102,611,800	4.2%	6	2,353	3.4%		805	10.4%		127,468	
0211 良性新生物及びその他の新生物	19,169,480	0.8%		1,402	2.0%		801	10.3%		23,932	
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,612,190	1.2%		2,212	3.2%		807	10.4%		35,455	
0301 貧血	11,216,990	0.5%		1,586	2.3%		552	7.1%		20,321	
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,395,200	0.7%		731	1.1%		360	4.6%		48,320	
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	237,502,200	9.8%		22,401	32.6%		3,526	45.4%		67,357	
0401 甲状腺障害	10,084,500	0.4%		1,462	2.1%		491	6.3%		20,539	
0402 糖尿病	121,465,970	5.0%	3	10,599	15.4%	3	2,389	30.7%	3	50,844	
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	105,951,730	4.4%	5	16,480	24.0%	2	2,530	32.5%	1	41,878	
V. 精神及び行動の障害	180,509,600	7.5%		6,500	9.5%		951	12.2%		189,810	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	1,093,330	0.0%		28	0.0%		14	0.2%		78,095	
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,802,570	0.1%		81	0.1%		36	0.5%		50,071	
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	102,028,660	4.2%	7	1,797	2.6%		218	2.8%		468,021	4
0504 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	37,837,270	1.6%		3,146	4.6%		418	5.4%		90,520	
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15,328,450	0.6%		3,207	4.7%		564	7.3%		27,178	
0506 知的障害<精神遅滞>	13,985,310	0.6%		89	0.1%		12	0.2%		1,165,443	2
0507 その他の精神及び行動の障害	8,434,010	0.3%		379	0.6%		84	1.1%		100,405	
VI. 神経系の疾患	98,581,550	4.1%		10,160	14.8%		1,654	21.3%		59,602	
0601 パーキンソン病	9,496,020	0.4%		523	0.8%		68	0.9%		139,647	
0602 アルツハイマー病	6,021,750	0.2%		262	0.4%		39	0.5%		154,404	
0603 てんかん	14,808,630	0.6%		1,037	1.5%		158	2.0%		93,726	
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,576,010	0.3%		100	0.1%		21	0.3%		360,762	6
0605 自律神経系の障害	662,110	0.0%		275	0.4%		54	0.7%		12,261	
0606 その他の神経系の疾患	60,017,030	2.5%		8,999	13.1%	5	1,516	19.5%		39,589	

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患		103,333,370	4.3%		7,279	10.6%		2,669	34.3%		38,716	
0701	結膜炎	8,283,210	0.3%		3,227	4.7%		1,346	17.3%		6,154	
0702	白内障	25,156,950	1.0%		2,292	3.3%		677	8.7%		37,159	
0703	屈折及び調節の障害	10,742,010	0.4%		5,672	8.2%	8	2,062	26.5%	7	5,210	
0704	その他の眼及び付属器の疾患	59,151,200	2.4%		5,552	8.1%	9	1,903	24.5%		31,083	
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患		11,962,950	0.5%		1,453	2.1%		684	8.8%		17,490	
0801	外耳炎	1,087,010	0.0%		365	0.5%		232	3.0%		4,685	
0802	その他の外耳疾患	703,580	0.0%		221	0.3%		168	2.2%		4,188	
0803	中耳炎	1,822,670	0.1%		372	0.5%		190	2.4%		9,593	
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	3,052,290	0.1%		316	0.5%		129	1.7%		23,661	
0805	メニエール病	1,289,740	0.1%		232	0.3%		79	1.0%		16,326	
0806	その他の内耳疾患	1,230,900	0.1%		100	0.1%		61	0.8%		20,179	
0807	その他の耳疾患	2,776,760	0.1%		386	0.6%		194	2.5%		14,313	
Ⅸ. 循環器系の疾患		360,958,230	14.9%		23,931	34.8%		3,218	41.4%		112,168	
0901	高血圧性疾患	134,290,020	5.5%	2	20,089	29.2%	1	2,360	30.4%	4	56,903	
0902	虚血性心疾患	62,294,110	2.6%	9	3,326	4.8%		663	8.5%		93,958	
0903	その他の心疾患	60,910,270	2.5%	10	4,072	5.9%		1,055	13.6%		57,735	
0904	くも膜下出血	5,940,150	0.2%		38	0.1%		17	0.2%		349,421	7
0905	脳内出血	3,509,980	0.1%		128	0.2%		94	1.2%		37,340	
0906	脳梗塞	37,567,300	1.6%		2,484	3.6%		461	5.9%		81,491	
0907	脳動脈硬化	113,800	0.0%		25	0.0%		14	0.2%		8,129	
0908	その他の脳血管疾患	12,558,600	0.5%		481	0.7%		212	2.7%		59,239	
0909	動脈硬化	8,334,320	0.3%		824	1.2%		273	3.5%		30,529	
0910	痔核	2,776,850	0.1%		437	0.6%		163	2.1%		17,036	
0911	低血圧	711,390	0.0%		115	0.2%		30	0.4%		23,713	
0912	その他の循環器系の疾患	31,951,440	1.3%		1,306	1.9%		458	5.9%		69,763	
Ⅹ. 呼吸器系の疾患		160,246,450	6.6%		13,932	20.3%		4,258	54.8%		37,634	
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	1,233,580	0.1%		587	0.9%		386	5.0%		3,196	
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	7,904,150	0.3%		2,624	3.8%		1,544	19.9%		5,119	
1003	その他の急性上気道感染症	13,053,100	0.5%		3,952	5.7%		1,992	25.6%	8	6,553	
1004	肺炎	21,382,010	0.9%		610	0.9%		406	5.2%		52,665	
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	15,515,650	0.6%		3,940	5.7%		1,958	25.2%	9	7,924	
1006	アレルギー性鼻炎	25,621,250	1.1%		5,479	8.0%	10	1,957	25.2%	10	13,092	
1007	慢性副鼻腔炎	2,478,310	0.1%		592	0.9%		199	2.6%		12,454	
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	2,193,670	0.1%		516	0.8%		307	3.9%		7,146	
1009	慢性閉塞性肺疾患	9,000,130	0.4%		1,116	1.6%		269	3.5%		33,458	
1010	喘息	31,913,180	1.3%		3,517	5.1%		1,031	13.3%		30,954	
1011	その他の呼吸器系の疾患	29,951,420	1.2%		2,184	3.2%		1,210	15.6%		24,753	
Ⅺ. 消化器系の疾患		174,207,070	7.2%		19,099	27.8%		4,119	53.0%		42,294	
1101	う蝕	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	14,480	0.0%		8	0.0%		7	0.1%		2,069	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	60,350	0.0%		14	0.0%		9	0.1%		6,706	
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	17,406,990	0.7%		3,386	4.9%		878	11.3%		19,826	
1105	胃炎及び十二指腸炎	33,122,700	1.4%		8,679	12.6%	6	2,503	32.2%	2	13,233	
1106	アルコール性肝疾患	2,888,280	0.1%		112	0.2%		28	0.4%		103,153	
1107	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	2,452,300	0.1%		701	1.0%		253	3.3%		9,693	
1108	肝硬変（アルコール性のものを除く）	5,276,170	0.2%		351	0.5%		86	1.1%		61,351	
1109	その他の肝疾患	8,306,250	0.3%		2,130	3.1%		1,051	13.5%		7,903	
1110	胆石症及び胆のう炎	8,151,360	0.3%		542	0.8%		193	2.5%		42,235	
1111	脾疾患	4,309,200	0.2%		650	0.9%		408	5.2%		10,562	
1112	その他の消化器系の疾患	92,218,990	3.8%	8	10,388	15.1%	4	2,162	27.8%	6	42,654	

	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
	XⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	46,047,250	1.9%		6,757	9.8%		2,402	30.9%		19,170	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	4,560,650	0.2%		794	1.2%		530	6.8%		8,605	
1202	皮膚炎及び湿疹	25,992,290	1.1%		4,655	6.8%		1,724	22.2%		15,077	
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	15,494,310	0.6%		2,851	4.1%		1,176	15.1%		13,175	
	XⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	182,288,220	7.5%		14,185	20.6%		2,994	38.5%		60,885	
1301	炎症性多発性関節障害	29,334,570	1.2%		1,938	2.8%		472	6.1%		62,150	
1302	関節症	26,711,610	1.1%		2,830	4.1%		679	8.7%		39,340	
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	37,708,250	1.6%		3,371	4.9%		810	10.4%		46,553	
1304	椎間板障害	9,533,140	0.4%		1,048	1.5%		305	3.9%		31,256	
1305	頰腕症候群	1,508,370	0.1%		648	0.9%		150	1.9%		10,056	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	13,866,360	0.6%		3,781	5.5%		951	12.2%		14,581	
1307	その他の脊柱障害	8,346,880	0.3%		581	0.8%		212	2.7%		39,372	
1308	肩の傷害＜損傷＞	5,076,360	0.2%		1,353	2.0%		360	4.6%		14,101	
1309	骨の密度及び構造の障害	22,447,240	0.9%		3,102	4.5%		580	7.5%		38,702	
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	27,755,440	1.1%		3,233	4.7%		1,180	15.2%		23,522	
	XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	239,719,470	9.9%		6,165	9.0%		1,728	22.2%		138,727	
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	6,982,210	0.3%		824	1.2%		291	3.7%		23,994	
1402	腎不全	188,352,820	7.8%	1	1,027	1.5%		145	1.9%		1,298,985	1
1403	尿路結石症	3,232,270	0.1%		469	0.7%		161	2.1%		20,076	
1404	その他の腎尿路系の疾患	15,345,620	0.6%		2,502	3.6%		937	12.1%		16,377	
1405	前立腺肥大	15,196,570	0.6%		1,760	2.6%		286	3.7%		53,135	
1406	その他の男性生殖器の疾患	1,689,970	0.1%		215	0.3%		78	1.0%		21,666	
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	1,914,800	0.1%		363	0.5%		149	1.9%		12,851	
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	7,005,210	0.3%		749	1.1%		385	5.0%		18,195	
	XⅤ. 妊娠、分娩及び産じょく	5,767,130	0.2%		103	0.1%		53	0.7%		108,814	
1501	流産	402,190	0.0%		24	0.0%		17	0.2%		23,658	
1502	妊娠高血圧症候群	4,590	0.0%		3	0.0%		1	0.0%		4,590	
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	5,360,350	0.2%		82	0.1%		39	0.5%		137,445	
	XⅥ. 周産期に発生した病態	669,380	0.0%		34	0.0%		21	0.3%		31,875	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	115,510	0.0%		18	0.0%		8	0.1%		14,439	
1602	その他の周産期に発生した病態	553,870	0.0%		18	0.0%		15	0.2%		36,925	
	XⅦ. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,397,980	0.1%		377	0.5%		147	1.9%		16,313	
1701	心臓の先天奇形	79,700	0.0%		23	0.0%		13	0.2%		6,131	
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	2,318,280	0.1%		355	0.5%		136	1.7%		17,046	
	XⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,934,070	1.7%		6,207	9.0%		2,246	28.9%		17,780	
1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	39,934,070	1.7%		6,207	9.0%	7	2,246	28.9%	5	17,780	
	XⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	82,898,680	3.4%		3,022	4.4%		1,449	18.6%		57,211	
1901	骨折	37,493,890	1.5%		821	1.2%		309	4.0%		121,339	
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,552,630	0.1%		76	0.1%		65	0.8%		54,656	
1903	熱傷及び腐食	285,160	0.0%		45	0.1%		29	0.4%		9,833	
1904	中毒	1,218,290	0.1%		149	0.2%		124	1.6%		9,825	
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	40,348,710	1.7%		2,264	3.3%		1,175	15.1%		34,339	
	XⅩ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,349,130	0.3%		1,521	2.2%		356	4.6%		20,644	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	8,300	0.0%		2	0.0%		2	0.0%		4,150	
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	390	0.0%		1	0.0%		1	0.0%		390	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,340,440	0.3%		1,518	2.2%		354	4.6%		20,736	

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
XXⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210 重症急性呼吸器症候群〔SARS〕	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220 その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外	461,530	0.0%		84	0.1%		46	0.6%		10,033	
9999 分類外	461,530	0.0%		84	0.1%		46	0.6%		10,033	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



上里町国民健康保険データヘルス計画

平成 29 年 3 月

発行 上里町 健康保険課 医療年金係

〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木 5518

TEL 0495-35-1222